農村地域防災減災事業

変更

土　地　改　良　事　業　計　画　書

菊川中地区
山口県

※２段書き上段の括弧書きは変更前

土　地　改　良　事　業　計　画　書

第１章　目的 …… 1

第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地域 …… 1
　第２節　地積 …… 1

第３章　現況 …… 2
　第１節　気象及び海象 …… 2
　　１　一般気象 …… 2
　　２　特殊気象 …… 3
　　３　海象 …… 3
　第２節　土地状況 …… 4
　　１　地形、土壌及び浸食の程度 …… 4 ～5
　　２　土地分類 …… 5
　　３　土地利用の状況 …… 6
　　４　土地所有の状況 …… 7
　第３節　水利状況 …… 8
　　１　用水状況 …… 8 ～11
　　２　排水状況 …… 11 ～13
　　３　河川状況 …… 14
　第４節　道路現況 …… 14
　　１　道路概況 …… 14
　　２　主要道路一覧表 …… 14
　第５節　地域農業の概況 …… 15
　　１　産業別就業人口 …… 15
　　２　経営耕地広狭別農家数及び
　　耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 …… 15
　　３　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 16
　　４　主要作物作付状況 …… 17
　　５　農業の動向 …… 18
　第６節　地域環境の概況 …… 18

第４章　一般計画 …… 19
　第１節　事業計画の要旨 …… 19
　　１　要旨 …… 19
　　２　事業別面積 …… 19
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 20
　　１　営農計画の概要 …… 20
　　２　土地利用区分 …… 20
　　３　作付方式 …… 21
　　４　生産計画 …… 22
　　５　労働改善計画 …… 23
　　６　級地別土地利用区分 …… 24
　　７　土地配分計画 …… 25
　第３節　用水計画 …… 26
　　１　計画基準年 …… 26
　　２　計画かんがい方式 …… 26
　　３　計画用水系統 …… 26
　　４　計画用水量 …… 26 ～27
　　５　水源計画 …… 28 ～31
　第４節　排水計画 …… 32
　　１　計画基準雨量 …… 32
　　２　計画排水方式 …… 32
　　３　計画排水系統 …… 32
　　４　計画排水量 …… 32
　　５　排水対策 …… 33 ～34

６　湛水検討 …… 34
第５節　道路計画 …… 35
１　道路及び索道 …… 35
２　路線配置図 …… 35
第６節　農用地造成計画 …… 36
１　農用地造成計画 …… 36
２　土壌改良 …… 36
第７節　洪水調節計画 …… 37
１　計画基準雨量 …… 37
２　計画洪水量及び調節量 …… 37
３　貯水池 …… 37
４　洪水調節検討 …… 38
５　管理計画 …… 38
第８節　干拓計画 …… 38
第９節　農用地整備計画 …… 38
１　区画整理 …… 38 ～39
２　暗渠排水 …… 40
３　客土 …… 41
４　農地保全 …… 41 ～42
第10節　老朽ため池改修計画 …… 42
１　洪水吐改修計画 …… 42
２　堤体補強計画 …… 42
３　取水施設改修計画 …… 42

第５章　主要工事計画 …… 43
第１節　用水施設 …… 43
１　貯水池 …… 43
２　頭首工 …… 43
３　揚水機 …… 44
４　用水路 …… 44
５　その他かんがい施設 …… 44
第２節　排水施設 …… 45
１　排水水門 …… 45
２　排水機 …… 45
３　排水路 …… 46
４　その他排水施設 …… 46
第３節　道路及び索道 …… 46
１　道路 …… 46
２　索道 …… 47
第４節　農用地造成 …… 47
１　農用地造成工 …… 47 ～48
２　土壌改良 …… 48
第５節　洪水調節施設 …… 49
１　貯水池 …… 49
２　頭首工及び導水施設 …… 49
第６節　干拓施設 …… 50
１　堤防 …… 50
２　潮止め …… 50
３　付属施設 …… 50
４　埋立 …… 50
第７節　農用地整備施設 …… 50
１　区画整理 …… 50 ～51
２　暗渠排水 …… 51 ～52
３　客土 …… 52
４　除礫 …… 52
５　農地保全 …… 53
第８節　老朽ため池改修施設 …… 54
１　貯水池 …… 54
２　堤体補強施設 …… 54

第６章　附帯工事計画 …… 55

第７章　工事の着手及び完了の予定時期　……　55

第８章　環境との調和への配慮　……　55

第９章　換地計画の概要　……　55
　第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方……　55
　第２節　換地区の設定　……　55
　　１　換地区の名称，所在，面積　……　55
　　２　換地区を設定する理由　……　55
　第３節　換地計画樹立の基本方針　……　55
　　１　従前の土地の面積の基準　……　55
　　２　用途別予定地積　……　56
　　３　農用地集団化の方針　……　56
　　４　非農用地の換地方法　……　57
　第４節　土地の評価及び清算の方法　……　57
　　１　評価の方法　……　57
　　２　清算の方法　……　57
　第５節　換地計画樹立の年度計画　……　57
　第６節　換地処分の時期に関する特則　……　57

第10章　事業費の総額及び内訳　……　58

第11章　効用　……　59 ～62

第12章　関連する事業　……　63

第13章　現況・計画図面　……　63
　　１　現況平面図　……　63
　　２　計画平面図　……　63
　　３　主要構造図　……　63

第１章　　目　　的

（１）必要性

本ため池は、堤体上流・下流法面の浸食や変形など、近年堤体の老朽化が進み堤体が弱体化しており、堤防決壊の危険にさらされている。

よって、堤体の安全とかんがい用水確保のため、本ため池は早急に改修を要する。

（２）緊急性

上記の通り近年老朽化が著しく、台風、梅雨等の豪雨時には、極めて危険な状態にあり、堤体下流の住民の不安は大なるものである。従って、受益農家及び堤体下流側住民の不安解消と堤防決壊による被害防止のため、本ため池は、緊急に補強対策工事を実施しなければならない。

第２章　　地域及び地積

第１節　　地　　域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農村地域防災減災事業 （ため池整備）	下関市菊川町大字吉賀、七見、下保木　地内

第２節　　地　　積

（（平成　29年　11月現在））

（令和　　6年　　3月現在）

（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農村地域防災減災事業 （ため池整備）	下関市	6.0					6.0	迫浴上
	下関市	9.6					9.6	戸井ヶ迫
	下関市	7.9					7.9	大迫
	計	23.5					23.5	
合　　計		23.5					23.5	

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

1　一般気象

（第３表－１）

観測所名	下関地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	(昭和52年～平成28年) 昭和58年～令和4年	４月～　９月	１０月～　３月		
平　均　気　温　(℃)		(22.3) 22.5	(11.1) 11.3	(16.1) 16.3	
降 水 量	平　均　(mm)	(1,206 (201)) 1,199 (200)	(504 (84)) 497 (83)	(1,710 (143)) 1696 (141)	()は月平均
	基 準 年　(mm)	1,615	(190) 578	(1,813) 2,193	昭和60年（最大日雨量1/10年相当年）
降水日数	平　均　(日)	64 (11)	(61 (10)) 60 (10)	(125 (10)) 124 (10)	()は月平均
	基 準 年　(日)	57	(37) 78	(94) 135	昭和60年（最大日雨量1/10年相当年）
根　雪　期　間		－			
無　霜　期　間		－			
最　多　風　向		(3.4) 2.5　m/s 北西	(4.7) 4.8　m/s 西	(4.4) 3.0　m/s 西	最多風向発生時期　－ 最大風速発生時期　－

2　特殊気象

（第３表－２）

観測所名 下関地方気象台	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 (S30　年　～　H28　年) S30　年　～　R4　年	数 量	年 月 日	発生確率	数 量	年 月 日	発生確率	数 量	年 月 日	発生確率	数 量	年 月 日	発生確率	数 量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	(174.0) 186.0	(S55.7.1) R3.8.14	(1/31.3) 1/38.9	(174.0) 184.0	(H24.7.14) H30.7.6	(1/31.3) 1/33.9	(172.5) 174.0	(H7.7.2) S55.7.1	(1/28.5) 1/20.0	(171.5) 174.0	(S30.4.15) H24.7.14	(1/26.7) 1/20	(163.5) 172.5	(S60.6.23) H7.7.2	(1/16.3) 1/18.5	
最大時間雨量 (mm)	71.0	H16.9.16	(1/40.5) 1/37.4	71.0	H24.7.14	(1/40.5) 1/37.4	65.5	H27.8.25	(1/22.9) 1/20.7	64.5	H15.7.19	(1/20.6) 1/18.6	(60.0) 64.0	(H18.7.4) R1.7.18	(1/13.1) 1/17.7	
最大４時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量 (mm)	605.0	S60.6.21	(1/98.8) 1/114.5	470.0	H7.6.30	(1/22.2) 1/22.9	434.0	S54.6.25	(1/14.9) 1/15.0	430.0	S61.7.4	1/14.3	423.0	S56.6.25	1/13.2	
最大連続干天日数 (日)	31.0	S35.7.11	(1/87.6) 1/74.3	(29.0) 31.0	(H6.7.28) R2.11.23	(1/49.6) 1/74.3	29.0	(H9.10.6) H6.7.28	(1/49.6) 1/42.5	29.0	(H28.7.18) H9.10.6	(1/49.6) 1/42.5	(24.0) 29.0	(H2.7.17) H28.7.18	(1/12.1) 1/42.5	

3　海　　象

（第３表－３）

観測所名	－	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間	－年 ～ －年								
実測値		－ (　　)	－	－	－	－	－	－ (　　)	

第２節　土地状況

１　地形、土壌及び侵食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農村地域防災減災事業（ため池整備）	面積（ha）			6.0			6.0									43.7	28.5	迫浴上
	比率（%）			100			100											
	面積（ha）			9.6			9.6									31.0	15.1	戸井ヶ迫
	比率（%）			100			100											
	面積（ha）			7.9			7.9									32.3	18.5	大迫
	比率（%）			100			100											
合計	面積（ha）			23.5			23.5											
	比率（%）			100			100											

（第４表－１－２）

土壌統（区）名 ＼ 項目	土壌統（区）区分一覧表											面積（ha）			備考
	土壌断面									堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層				農村地域防災減災事業（ため池整備）		計	
坂ノ上統	黄褐色	なし	なし	糸根・マンガン含む	強粘質	強粘質		なし	なし	洪積性台地	非固結水成岩	6.0		6.0	迫浴上
向田統	灰褐色	なし	なし	糸根・管状含む	強粘質	強粘質		なし	なし	水積	非固結水成岩	4.3		4.3	戸井ヶ迫
岡統	黄褐色	なし	なし	糸根・管状含む	強粘質	強粘質		なし	なし	崩積	固結水成岩	5.3		5.3	
東田統	灰褐色	なし	なし	糸根・管状含む	壌質	壌質		なし	なし	水積	非固結水成岩	4.5		4.5	大迫
今出統	灰色	なし	なし	糸根・管状含む	壌質	壌質		なし	なし	水積	非固結水成岩	3.4		3.4	
計												23.5		23.5	

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度				備考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3㎜未満	3～5㎜	5㎜以上	中程度のもの		大なるもの		
	面積（ha）													
	比率（%）													

２　土地分類

（第４表－２－１）

級地別 / 市町村名	農用地造成											計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
													※は傾斜以外の要因によるもの。
計													

（第４表－２－２）

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計						

３　土地利用の状況

（（平成　29年　11月現在））
（令和　6年　3月現在）

（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農村地域防災減災事業（ため池整備）	下関市	6.0											6.0	迫浴上
	下関市	9.6											9.6	戸井ヶ迫
	下関市	7.9											7.9	大迫
	計	23.5											23.5	
合計		23.5											23.5	

4　土地所有の状況

（（平成　29年　11月現在））
（令和　7年　5月現在）

（第４表－４）

事業名	所有別／区分	50ａ以下	50～100ａ	100ａ以上	計	備　　考
農村地域防災減災事業（ため池整備）	面　　積（ha）	6.0			6.0	迫浴上
	受益者数（人）	(11) 10			(11) 10	
	筆　　数（筆）	35			35	
	権　利　関　係	所有権・賃借権・使用貸借権				
	備　　考（関係戸数）	(11) 10			(11) 10	
農村地域防災減災事業（ため池整備）	面　　積（ha）	9.6			9.6	戸井ヶ迫
	受益者数（人）	(6) 5			(6) 5	
	筆　　数（筆）	37			37	
	権　利　関　係	所有権・賃借権・使用貸借権				
	備　　考（関係戸数）	(6) 5			(6) 5	
農村地域防災減災事業（ため池整備）	面　　積（ha）	7.9			7.9	大迫
	受益者数（人）	(10) 7			(10) 7	
	筆　　数（筆）	37			37	
	権　利　関　係	所有権・賃借権				
	備　　考（関係戸数）	(10) 7			(10) 7	
合計	面　　積（ha）	23.5			23.5	
	受益者数（人）	(27) 22			(27) 22	
	筆　　数（筆）	109			109	
	権　利　関　係	所有権・賃借権・使用貸借権				
	備　　考（関係戸数）	(27) 22			(27) 22	

第３節　水利状況

１　用 水 状 況

（１）用水系統

ため池を主な水源とし、受益地（迫浴上A=6.0ha、戸井ヶ迫A=9.6ha、大迫A=7.9ha）をかんがいしている。

（２）用水慣行

6月上旬にかけ田植えが行われ、9月下旬まで水田に配水される。

（３）用水施設

（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 10ha以上 箇所	ha	10～5ha 箇所	ha	5ha未満 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権 箇所	m^3/s	慣行水利権 箇所	m^3/s	延べ取水量 m^3/s	備考
農村地域防災減災事業（ため池整備）	貯水池			3	23.5			3	23.5	3	0.092			0.092	迫浴上、戸井ヶ迫、大迫
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計			3	23.5			3	23.5	3	0.092			0.092	
合計				3	23.5			3	23.5	3	0.092			0.092	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
農村地域防災減災事業（ため池整備）	貯水池	迫浴上	6.0	均一型	H=7.8m L=43.0m	不明	堤体及び取水施設の老朽化・余水吐の断面不足	
		戸井ヶ迫	9.6	均一型	H=6.7m L=45.0m	不明	堤体及び取水施設の老朽化・余水吐の断面不足	
		大迫	7.9	均一型	H=7.0m L=40.0m	不明	堤体及び取水施設の老朽化・余水吐の断面不足	
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計		23.5					
合計			23.5					

（４）　用水に関する被害状況

（ア）用水不足による被害状況

（第５表－３－１）

事業名	項目／系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均 (m³/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年 (m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均 (m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年 (m³/s)	平均減産量 (t) 作物名	平均減産量 (t) 減産量 (t)	備考
	計									
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況

（第５表－３－２）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (℃) 最高	水温 (℃) 最低	水質	被害量 (t)	備考

（５）ため池施設決壊の場合の想定被害状況

（第５表－３－３）

事業名	想定被害面積（ha）				想定被害額（百万円）						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業（ため池整備）	20.4	－	10.2	30.6	(38.8) 37.4	(183.7) 256.2	(121.5) 263.7	(94.8) 261.9	(178.9) 304.5	(617.7) 1123.7	迫浴上
	14.2	－	3.8	18.0	(17.5) 16.8	(3.1) 0.5	(36.6) 108.7	0.0	(34.7) 60.2	(91.9) 186.2	戸井ヶ迫
	4.5	－	1.9	6.4	(7.6) 7.3	(32.4) 45.4	(21.9) 57.7	(16.8) 64.4	(33.6) 85.2	(112.3) 260.0	大迫
計	39.1	－	15.9	55.0	(63.9) 61.5	(219.2) 302.1	(180.0) 430.1	(111.6) 326.3	(247.2) 449.9	(821.9) 1569.9	
合計	39.1	－	15.9	55.0	(63.9) 61.5	(219.2) 302.1	(180.0) 430.1	(111.6) 326.3	(247.2) 449.9	(821.9) 1569.9	

２　排水状況

（１）排水系統

該当なし

（２）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	施設名 ＼ 項目		排水面積						計		排水慣行（m^3/s）	現況排水能力（m^3/s）	備考
			ha以上		未満～ ha		ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

（イ）改修を要する施設の一覧表

（第５表－５）

事業名	項目／施設名		施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

（３）排水に関する被害状況

（第５表－６）

事業名	項目 / 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m^3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

3　河川状況

（1）河川状況

（第５表－７）

項　目 河川名	流路状況	勾　　配	断　　面	計　画　洪　水　量 （m^3/s）	既往最大洪水量 （m^3/s）	備　　考

（2）洪水に関する被害状況

（第５表－８）

項　目 区　分	農　用　地 （百万円）	農　用　施　設 （百万円）	作　　物 （百万円）	公　共　施　設 （百万円）	備　　考
過去の最大被害額					
平　均　被　害　額					

第４節　道路現況

1　道路概況

該当なし

2　主要道路一覧表

（第６表）

Ｎｏ	路　線　名	管理区分別	延　長 （m）	幅　員（m）		構　造	改修の要否	備　考
				全　幅	有　効			

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第７表－１）

項目 ＼ 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ｶﾞｽ熱供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
下関市	(128,223)	(5,577)		(838)	(38)	(10,137)	(20,589)	(720)	(9,777)	(22,270)	(3,745)	(1,764)	(45,337)	(4,657)	(2,774)	(平成27～28年 山口県 農林水産統計年報)
	125,762	4,443		587	55	10,050	20,129	710	9,132	20,431	3,358	2,153	50,106	4,608	0	
計	(128,223)	(5,577)		(838)	(38)	(10,137)	(20,589)	(720)	(9,777)	(22,270)	(3,745)	(1,764)	(45,337)	(4,657)	(2,774)	令和2年　国勢調査
	125,762	4,443		587	55	10,050	20,129	710	9,132	20,431	3,358	2,153	50,106	4,608	0	
比率(%)	(4.3)			(0.6)	(0.1)	(7.9)	(16.0)	(0.6)	(7.6)	(17.4)	(2.9)	(1.4)	(35.4)	(3.6)	(2.2)	
	100.0	3.5		0.5	0.0	8.0	16.0	0.6	7.3	16.2	2.7	1.7	39.8	3.7	0.0	

※各項目における比率は端数調整を行っている

２　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（第７表－２）

区分 ＼ 市町村名	農家総戸数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的農家 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸) 耕地なし	0.3～未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～以上	計	1戸当たり平均農用地面積 (ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 1戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専兼業別農家数(戸) 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
下関市	(4,581)	(3,452)	(1,129)	(27)	(181)	(544)	(1,178)	(738)	(414)	(263)	(146)	(63)	(33)	(21)	(3,608.0)	(1.4)	(0.3)		(1.7)		(1.7)			(1,224)	(315)	(1,913)	
	3,521	2,488	1,033	21	170	402	852	526	253	193	118	51	33	26	2,645	1.1	0.1	－	1.2	－	1.2	－	－	－	－	－	
計	(4,581)	(3,452)	(1,129)	(27)	(181)	(544)	(1,178)	(738)	(414)	(263)	(146)	(63)	(33)	(21)	(3,608)	(0.0)	(0.0)		(0.0)		(0.0)			(1,224)	(315)	(1,913)	
	3,521	2,488	1,033	21	170	402	852	526	253	193	118	51	33	26	2,645	1.1	0.1	－	1.2	－	1.2	－	－	－	－	0	
比率(%)		(75.4)	(24.6)	(0.7)	(5.0)	(15.1)	(32.7)	(20.5)	(11.5)	(7.3)	(4.0)	(1.7)	(0.9)	(0.6)	(100.0)	(82.4)	(17.6)							(35.5)	(9.1)	(55.4)	
	100.0	70.7	29.3	0.8	6.4	15.2	32.2	19.9	9.6	7.3	4.5	1.9	1.2	1.0	100.0	91.7	8.3	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	0.0	

※各項目における比率は端数調整を行っている

（山口農林水産統計年報（平成27年～28年））
2020年農林業センサス

３　動力農機具及び主要家畜頭数

（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具						主要家畜								備考
	田植機		農用トラクター		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（羽）	戸数（戸）	
下関市	(2,254) －	(2,202) －	(3,372) －	(3,003) －	(2,094) －	(2,047) －	(1,587) 1,201	(35) 23	 －	 70	 －	 1	(2,731) 5,293	(9) 7	
１００戸当たり数量（台、頭）	(102) －		(112) －		(102) －		(4,534) 5,222		 －		 －		(30,344) 75,614		
利用戸数割合（%）	(48.1) －		(65.6) －		(44.7) －		(0.8) 0.7		 2.0		 0.0		 0.2		(総農家戸数　4581戸) 総農家戸数　3521戸 （Ｐ15参照）

(2015年農林業センサス)
2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第７表－４）

市　町　村　名			下関市		－		平　均	作付率	備　考
総耕地面積（ha）			(6,440) 7,280		－		(6,440) 7,280		
総本地面積（ha）			(5,880) 5,720		－		(5,880) 5,720		
作物名	区分		作付面積 （ha）	単位面積当たり収量 （kg/10a）	作付面積 （ha）	単位面積当たり収量 （kg/10a）	単位面積当たり収量 （kg/10a）	（%）	
田	表作	水　稲	(3,620) 3,120	(523) 525	－	－	(523) 525	(62) 54.6	
	裏作	麦	(－) 275	(－) 322	－	－	(－) 322	(－) 4.8	
	小　計		(3,620) 3,395		－			(61.6) 59.4	
畑	春夏作	大豆	93	68	－	－	68	1.6	
	秋冬作	野菜類	－	－	－	－	－	－	
	小　計		93		－			1.6	
樹園地	果樹		－	－	－	－	－	－	
	小　計		－		－			－	
計			(3,620) 3,488		－			(61.6) 61.0	
市町村別延べ作付率（％）			(61.6) 61.0		－				

（山口農林水産統計年報（平成27～28年））　　中国四国農林水産統計データ集（令和3年～）

5　農業の動向

【下関市】　　（第７表－５）

区分＼項目	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	(86) 86	(71) 66	耕地	(97) 89	(74) 72	水稲	(102) 89	(90) 94	乳用牛	(86) 97	(83) 73	農用トラクター	(56) 82	(46) －		（A：平成　27年 (2015年農林業ｾﾝｻｽ)） A：令和　2年 (2020年農林業ｾﾝｻｽ) （B：平成　22年 (2010年農林業ｾﾝｻｽ)） B：平成　27年 (2015年農林業ｾﾝｻｽ) （C：平成　17年 (2005年農林業ｾﾝｻｽ)） C：平成　22年 (2010年農林業ｾﾝｻｽ)
	専業農家数	(100) 97	(97) －	田	(90) 91	(91) 73	大豆	(107) 110	(117) 119	肉用牛	(65) －	－ －	動力田植機	(75) 79	(59) －		
	第一種兼業農家数	(107) 60	(64) －	畑	(103) 80	(91) 87				豚	－ －	－ －	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	(80) 79	(63) －		
	第二種兼業農家数	(77) 79	(61) －	樹園地	(164) 54	(89) 36				鶏	－ 136	－ 264					
変化の理由	高齢化による減少			耕作放棄地の増加による減			転作による水稲の減			後継者不足による減			(大型機械化による減) -				

第６節　地域環境の概況

実施区域である下関市では田園環境マスタープランを策定し、地域環境の保全に努めることとしている。

第４章　　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

事業計画区域である下関市菊川地域には大小合わせ148カ所の農業用ため池があり、当該地域のかんがい用水源となっている。このうち堤体からの漏水や余水吐断面不足等の理由から3カ所のため池が市の防災計画において危険ため池として位置づけられている。これら危険ため池は、洪水時における堤体決壊の危険性が高く、決壊時には、下流地域の農地・施設・農作物に甚大な被害が予想される。市では、県と協力して毎年危険ため池のパトロールを実施し、点検及びため池管理者への適正管理の指導を行っているところであるが、パトロールの結果や現地確認において特に危険度の高いと判断された3カ所のため池については、早急な改修工事を実施することで、下流地域の保全に努める必要がある。

整備計画は堤体を前刃金工法にて改修し、漏水量を100ｍ当り1.00ﾘｯﾄﾙ/s以下とすることで堤体の安定を図るとともに、堤体上流法面には法面保護を施工し浸食を防止する。洪水吐はコンクリート三面張にて改修し、流下能力を確保することで台風・梅雨時期の集中豪雨における住民及び農地等の安全を確保する。取水施設は取水のために必要な流下能力を有した整備を行い、地震発生直後等の緊急時にも所定の水位低下機能を併せ持つ施設とする。

２　事業別面積

（第８表）

事業名	農村地域防災減災事業																計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	……	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	……	小計 (ha)	(ha)	
ため池整備	6.0					6.0											6.0	迫浴上
ため池整備	9.6					9.6											9.6	戸井ヶ迫
ため池整備	7.9					7.9											7.9	大迫
計	23.5					23.5											23.5	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１ 営農計画の概要

該当なし

２ 土地利用区分

（第９表－１）

事業名	区分＼土地利用区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
	現　　況												
	計　　画												
計	現　　況												
	計　　画												

3 作付方式

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	現況																																							
	計画																																							

4　生産計画

（第９表－３）

事業名	項目 / 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量（kg/10a）			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
	水田	表作															
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
	計																
		表作															
		裏作															
		春夏作															
		秋冬作															
	計																
合計																	

5　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量　(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
	計							
合計								

6　級地別土地利用区分

（第９表－５）

区分 / 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7　土地配分計画

（第９表－６）

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑				計	
				普通畑	牧草畑	樹園地			
増反									
		(　　)	(　　)	(　)	(　)	(　)	(　　)	(　　)	
入植									
		(　　)	(　　)	(　)	(　)	(　)	(　　)	(　　)	

第３節　用水計画

１　計画基準年

昭和60年

２　計画かんがい方式

かん断かんがい

３　計画用水系統

現況用水系統と同じ

４　計画用水量

（１）　かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目／系統名	種別	面積（ha）事業名			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量	損失率	粗用水量		備考
		農村地域防災減災事業		計	普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	平均かん水深一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	平均かん水深一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (mm)	面積 (ha)	計画平均単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	(m^3/s)	(%)	平均 (m^3/s)	最大 (m^3/s)	
迫浴上	農業用水	6.0		6.0	15	150	6.0											0.021	0.024	
戸井ヶ迫	農業用水	9.6		9.6	15	150	9.6											0.032	0.037	
大迫	農業用水	7.9		7.9	15	150	7.9											0.026	0.031	
計		23.5		23.5	―	―	23.5											0.079	0.092	

（２）営農飲雑用水

（第１０表－１－２）

区　　分	利用目的	対象面積（ha）			日当たり給水量		補給回数	関係戸数	備　　考
		事　業　名			単位給水量	最大給水量			
				計	（リットル／日）	（リットル／日）	（回）	（戸）	

5　水源計画

（1）水利用計画

（第１０表－２－１）

区分＼項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
	a	b	c＝a－b	$d=\frac{c}{(1-\alpha)}$		e	f	g＝c－f	h＝d－e				損失率
	（千m³）	（千m³）	（千m³）	（千m³）		（千m³）	（千m³）	（千m³）	（千m³）		（千m³）		：α
（事業名）													
計													

（２）　用　水　対　策

（ア）貯水池

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積 (km²) 直接	流域面積 (km²) 間接	かんがい面積 (ha) 事業名 農村地域防災減災事業	かんがい面積 (ha) 事業名 ―	かんがい面積 (ha) 事業名 計	純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考
迫浴上	(0.116) 0.125	―	6.0	―	6.0	(41.6) 44.3	(41.6) 44.3	2	0.024	
戸井ヶ迫	(0.039) 0.037	―	9.6	―	9.6	(8.6) 8.0	(8.6) 8.0	2	0.037	
大迫	0.107	―	7.9	―	7.9	6.7	6.7	2	0.031	

（イ）井堰及び自然取入口

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積 (ha) 事業名			取水量（m³／s）		渇水量 (m³／s)	備考
					計	最大	平均		
計									

（ウ）揚水機

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha） 事業名			所要水量(m³/s)		揚水機				備考
				計	最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m³／s)	台数 (台)	全揚水量 (m³／s)	

（エ）用水路

（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名		計	最大通水量（m^3/s）	延長（km）	構造	備考
計							

（オ）その他の水源施設

該当なし

（３）水温水質

該当なし

第４節　排水計画

１　計画基準雨量

該当なし

２　計画排水方式

該当なし

３　計画排水系統

該当なし

４　計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名		計	流域面積（km2） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m3/s/km2） 山地	平地	基底流出量（m3/s/km2） 山地	平地	全排水量（m3/s） 山地	平地 自然排水	平地 機械排水	単位排水量（m3/s/km2） 山地	平地	備考
計																

5　　排水対策

（1）排水水門

（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名		計	計画排水量 排水量 (m³/s)	地区内湛水深 (m)	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
計										

（2）排水機

（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名		計	計画排水量 排水量 (m³/s)	地区内湛水深 (m)	排水機 実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	備考
計											

（３）排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名			計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
				計				名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	
計											

（４）その他

該当なし

６　たん水検討

該当なし

第５節　道路計画

１　道路及び索道

（１）道路

（第１２表－１）

項　目 路線名	幅（有効）　×　延長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考

（２）索道

（第１２表－２）

項　目 路線名	能　　力（ｔ/hr）	延　　長（m）	接　続　道　路　名	備　　考

２　路線配置図

該当なし

第６節　農用地造成計画

１　農用地造成計画

（１）農用地造成計画

（第１３表－１）

項　目 土地利用区分	主　要　作　物	自　然　傾　斜	耕　地　の　形　態	標　準　区　画　の　形　状	備　　考

（２）末端道水路配置図

該当なし

２　土壌改良

（第１３表－２）

項目 区分	面　積 (ha)	土　壌 統（区）名	ｐＨ		置換酸度 （Y_1）	りん酸吸収 計　数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備　　考
			H_2O	ＫＣｌ			石灰 （ｔ）	りん酸質 資材（ｔ）	有　機　質 資材（ｔ）	

第７節　洪水調節計画

１　計画基準雨量

該当なし

２　計画洪水量及び調節量

（第１４表－１）

地　　点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時調節量 (m³/s)	ピーク時調節後流量 (m³/s)	調節後最大流量 (m³/s)	調節前後の最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)

３　貯水池

（第１４表－２）

項目／貯水池名	流域面積（km²）		計画洪水量 (m³/s)	貯水量（千m³）			計画調節流量 (m³/s)	可能調節流量 (m³/s)	備　　考
	直　接	間　接		有　効	洪水調節容量	他　目　的			

４　洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係

該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

（３）計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

５　管理計画

（１）管理機構

該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準

該当なし

（３）洪水調節要領

該当なし

第８節　干拓計画

（第１５表）

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第９節　農用地整備計画

１　区画整理

（１）区画の形状

（第１６表－１）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面積 (m)	備考
計					

（２）表土扱い

（第１６表－２）

面　　積 (ha)	表　土　扱　い　要　否　の　理　由	扱　い　深 (cm)	土　　量 (m^3)	備　　考

（３）末端道水路配置図

該当なし

２　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第１６表－３－１）

項　目 区分	面　　積（ha） 事　業　名			土壌統（区）名	基　準　雨　量 （mm/日）	単位排水量 （ﾘｯﾄﾙ/ｓ/ha）	計画後の地下水位　（m）	集水渠出口以下の排水方法	備　考
			計						
計									

（２）心土破砕

（第１６表－３－２）

項　目 区分	面　　積（ha） 事　業　名			土壌統（区）名	土壌硬度	備　考
			計			
計						

3　客　土

（第１６表－４）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統（区）名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり客土量(m^3)	土壌の性質		備考
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地(%)	採土地（客土材料）(%)	
計												

4　農地保全

（１）防災林

（第１６表－５－１）

項目 / 区分	最大風速(m/s)	幅(m)	間隔(m)	備考

（２）排水工

（第１６表－５－２）

項目 / 名称	基準雨量(mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量(m^3/s/ha)	全排水量(m^3/s)	

（３）　侵食（崩壊）防止工

（第１６表－５－３）

項　目 施設名	位　　置	支配面積 (ha)	機　　能	備　　考

第10節　老朽ため池改修計画

１　洪水吐改修計画

（１）計画基準雨量

迫浴上	(32.6mm/10min　86.6mm/60min) 29.0mm/10min　87.3mm/60min	1/200年確率雨量	下関地方気象台
戸井ヶ迫	(32.6mm/10min　86.6mm/60min) 29.0mm/10min　87.3mm/60min	1/200年確率雨量	下関地方気象台
大迫	(32.6mm/10min　86.6mm/60min) 29.0mm/10min　87.3mm/60min	1/200年確率雨量	下関地方気象台

（２）計画洪水量

迫浴上	(Q=2.461m3/ｓ) Q=1.922m3/ｓ　（貯留効果後）
戸井ヶ迫	(Q=0.990m3/ｓ) Q=0.680m3/ｓ　（貯留効果後）
大迫	(Q=2.938m3/ｓ) Q=2.879m3/ｓ

２　堤体補強計画

迫浴上	前刃金工法にて補強する。
戸井ヶ迫	前刃金工法にて補強する。
大迫	前刃金工法にて補強する。

３　取水施設改修計画

迫浴上

・底樋については、ヒューム管φ800をコンクリートで巻き立て、取水機能の安定を図る。

・斜樋については、地山の良好な地盤上へ設けることが原則であるが、やむを得ず堤体上へ設ける場合は、堤体盛土が不等沈下を起こさないよう十分転圧することとする。

戸井ヶ迫

・底樋については、ヒューム管φ800をコンクリートで巻き立て、取水機能の安定を図る。

・斜樋については、地山の良好な地盤上へ設けることが原則であるが、やむを得ず堤体上へ設ける場合は、堤体盛土が不等沈下を起こさないよう十分転圧することとする。

大迫

・底樋については、ヒューム管φ800をコンクリートで巻き立て、取水機能の安定を図る。

・斜樋については、地山の良好な地盤上へ設けることが原則であるが、やむを得ず堤体上へ設ける場合は、堤体盛土が不等沈下を起こさないよう十分転圧することとする。

第５章　　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池

（第１７表－１）

名　　称	（備考欄参照）			位　　置	下関市菊川町大字吉賀字迫浴1970番（迫浴上） 〃　　大字七見字戸井ヶ迫697番1（戸井ヶ迫） 〃　　大字下保木字大迫915番（大迫）					備　　考
堤　　体	型　　式	流域面積（km²）		堤　　高	堤　　長	堤体積	基盤地盤	貯 水 量（千m³）		
		直　　接	間　　接	（m）	（m）	（m³）	地　　質	総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	(0.116) 0.125	－	(9.20) 8.50	(54.0) 50.0	8,600	－	(41.6) 44.3	(41.6) 44.3	迫浴上
	前刃金	(0.039) 0.037	－	(7.00) 6.70	(52.0) 55.8	4,900	－	(8.6) 8.0	(8.6) 8.0	戸井ヶ迫
	前刃金	0.107	－	(8.00) 7.90	42.0	5,900	－	6.7	6.7	大迫
洪　水　吐	型　　式	洪水量（m³/ｓ）		取水施設	形　　式	取水量（m³/ｓ）	放流施設	型式	放　流　量（m³/ｓ）	
	正面越流式	(2.461) 1.922			(ヒューム管φ250) ヒューム管φ500	0.024		ｺﾝｸﾘｰﾄ三面張	(2.461) 1.922	迫浴上　　洪水量：貯留効果後
	正面越流式	(0.990) 0.680			(ヒューム管φ300) ヒューム管φ250	0.037		ｺﾝｸﾘｰﾄ三面張	(0.990) 0.680	戸井ヶ迫　洪水量：貯留効果後
	正面越流式	(2.938) 2.879			(ヒューム管φ300) ヒューム管φ200	0.031		ｺﾝｸﾘｰﾄ三面張	(2.938) 2.879	大迫

２　頭首工

（第１７表－２）

名　　称				位　　置				備　　考
型　　式	堤　　高（m）	堤　　長（m）			取水位（m）	取水量（m³/ｓ）	付帯施設	
		固　定　部	可　動　部	計				

3　揚水機

（第１７表－３）

項目 名称	位　　置	揚水量 （m^3/ｓ）	揚　　程（m）		揚　　水　　機			原　　動　　機			備　　考
			全揚程	実揚程	型式	口径 （mm）	台数 （台）	型式	動力 （ ）	台数 （台）	

4　用水路

（第１７表－４）

項　目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 （m^3/ｓ）	延長（km）			構　造	勾配	主要構造物	備　　考
	事　業　名				開きょ	トンネル その他	計				
			計								
計											

5　その他かんがい施設

該当なし

第２節　排水施設

１　排水水門

（第１８表－１）

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 （m）	外水位 （m）	排水路 （m^3/ｓ）	備考
計							

２　排水機

（第１８表－２）

項目 名称	位置	排水量 （m^3/s）	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (mm)	台数 (台)	
計											

３　排水路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名			排水量	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
			計	（m^3/ｓ）	開きょ	トンネルその他	計				
計											

４　その他排水施設

該当なし

第３節　道路及び索道

１　道路

（１）道路の総括表

（第１９表－１）

項目 / 区分	路線名	幅（有効）（m）×延長（km）	構造	付帯構造物 名称	構造	数量（箇所）	最急こう配（%）	同左の延長（m）	最小曲線半径（m）	備考
計										

（２）道路主要構造物

（第１９表－２）

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長（m）	箇所数（箇所）	備考

２　索道

（第１９表－３）

項目 / 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 型式	原動機 動力 ( )	備考

第４節　農用地造成

１　農用地造成工

（１）抜根

（第２０表－１）

項目 / 区分	樹種	樹径 (cm)	ha 当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

（２）除礫

（第２０表－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

（３）開墾作業

（第２０表－３）

項目 / 区分		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
計				

（４）地目変換

（第２０表－４）

区　　分 ＼ 項目	面　　積　(ha)	工　　法	備　　考
計			

（５）末端用水路等

（第２０表－５）

区　　分 ＼ 項目	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考
計				

（６）末端排水路等

（第２０表－６）

区　　分 ＼ 項目	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考
計				

２　土壌改良

（第２０表－７）

区　　分 ＼ 項　　目	面　　積 (ha)	石　灰　量 (ｔ)	りん酸質資材量 (ｔ)	有機質資材量 (ｔ)	備　　考
計					

第５節　洪水調節施設

１　貯水地

該当なし

２　頭首工及び導水施設

（１）頭首工

（第２１表－２）

名　　称			位　　置					備　　考
			堤　　長（m）					
型　　式	集水面積（km²）	堤　高（m）	固 定 部	可 動 部	計	計画洪水位（m）	付帯施設	

（２）導水路

（第２１表－３）

項　目 / 水路名	通　水　量（m³/ｓ）	延　　長　（m）			構　　造	勾　　配	備　　考
		トンネル	その他	計			

第６節　干拓施設

１　堤防

（第２２表－１）

項目 / 名称	形式	延長 (m)	構造					原地盤標高（m）		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

２　潮止め

（第２２表－２）

項目 / 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

３　付属施設

該当なし

４　埋立

（第２２表－３）

項目 / 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m^3)	施工方法	備考

第７節　農用地整備施設

１　区画整理

（１）区画整理

（第２３表－１）

工区名	面積（ha）	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量（m^3）	面積（ha）	土量（m^3）	

（２）末端用水路等

（第２３表－２）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
計				

（３）末端排水路等

（第２３表－３）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
計				

２　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第２３表－４－１）

区分＼項目	面積（ha）			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名																
			計	勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
計																	

（２）心土破砕

（第２３表－４－２）

区分＼項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面　積 (ha)	工法	備　考
計					

３　客土

（第２３表－５）

区　分＼項　目	面　積 (ha) 事　業　名			客　入　土　量 (m^3)	土取場土量 (m^3)	運　搬　距　離 (km)	運　搬　方　法	備　考
			計					
計								

４　除礫

（第２３表－６）

区分＼項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面　積 (ha)	工法	備　考
計					

5　農地保全

（1）防災林

（第２３表－７）

項目 区分	幅 （m）	延長 （m）	面積 （ha）	樹種	植栽本数 （本）	備考
計						

（2）排水路

（第２３表－８）

項目 区分	延長 （m）	流量 （m^3/s）	構造	備考
計				

（3）侵食防止工

（第２３表－９）

項目 区分	構造	数量	備考

第８節　老朽ため池改修施設

１　貯水池

（第２４表）

名　　称	（備考欄参照）				位　置	下関市菊川町大字吉賀字迫浴1970番（迫浴上） 〃　　大字七見字戸井ヶ迫697番1（戸井ヶ迫） 〃　　大字下保木字大迫915番（大迫）		
堤　　体	型　式	流　域 （km²）	堤　高 （m）	堤　　長 （m）	堤体積 （m³）	堤頂幅 （m）	貯水量 （千m³）	備　考
	前刃金	(0.116) 0.125	(9.20) 8.50	(54.0) 50.0	8,600	(3.90) 3.70	(41.6) 44.3	迫浴上
	前刃金	(0.039) 0.037	(7.00) 6.70	(52.0) 55.8	4,900	3.40	(8.6) 8.0	戸井ヶ迫
	前刃金	0.107	8.00 7.90	42.0	5,900	3.60	6.7	大迫
洪水吐	型　式	洪水量 （m³/ｓ）	規　模 （m）	備　　考	取水施設	型　　式	取　水　量 （m³/ｓ）	備　考
	正面越流式	(2.461) 1.922	(30.3) 29.4	貯留効果後		(斜樋HPφ250) 斜樋HPφ500 ﾋｭｰﾑ管φ800	0.024	迫浴上
	正面越流式	(0.990) 0.680	(13.7) 12.7	貯留効果後		(斜樋HPφ300) 斜樋HPφ250 ﾋｭｰﾑ管φ800	0.037	戸井ヶ迫
	正面越流式	(2.938) 2.879	(34.3) 23.2			(斜樋HPφ300) 斜樋HPφ200 ﾋｭｰﾑ管φ800	0.031	大迫

２　堤体補強施設

（1）のり面保護施設

H.W.1＋波浪高まで前面法面保護工によって保護する。

（2）漏水防水工

前刃金工法にて改修する。

第６章　附帯工事計画

該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

貯水池名	工事着手及び完了の予定時期	備　　考
迫浴上	平成30年度～令和3年度	
戸井ヶ迫	(平成31年度～令和4年度) 平成31年度～令和6年度	
大迫	(令和2年度～令和5年度) 令和2年度～令和7年度	

第８章　環境との調和への配慮

本地域を含む周辺地域は、下関市田園環境マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられていることから、地域住民・有識者の意見を踏まえ、事業実施期間中の濁水流出防止等に努め、自然生態系に対する負荷を最小限に抑える対策を行う。

第９章　換地計画の概要

該当なし

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第２節　換地区の設定

１　換地区の名称・所在・面積

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）

２　換地区を設定する理由

該当なし

第３節　換地計画樹立の基本方針

１　従前の土地の面積の基準

（第２５表－２）

換　地　区　名	地　積　の　基　準

2　用途別予定地積

（単位　：　ha）　　（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第１条の９()書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
	従前の土地																													
	換　地																													
	従前の土地																													
	換　地																													
	従前の土地																													
	換　地																													
合計	従前の土地																													
合計	換　地																													

3　農用地集団化の方針

（第２５表－４）

換地区名＼区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い

４　非農用地の換地方法

（第２５表－５）

区　分 換地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　　積 （㎡）	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１　評価の方法

該当なし

２　清算の方法

該当なし

第５節　　換地計画樹立の年度計画

（第２５表－６）

区　分 換地区名	一時利用地 の　指　定 予定年度	換地計画の 決　　定 予定年度	換地処分 予定年度	備　　考

第６節　換地処分の時期に関する特則

該当なし

第１０章　事業費の総額及び内訳

（第２６表）

事業名	事業種類	工区名	単価（千円）	事業内容		事業費（千円）	備考
農村地域防災減災事業	ため池整備	迫浴上	(137,000千円/箇所) 139,000千円/箇所	堤体工	(堤高　H＝9.2m) 堤高　H＝8.5m	(137,000) 139,000	
					(堤長　L＝54.0m) 堤長　L＝50.0m		
				取水工	(斜樋　φ250　L＝11.7m) 斜樋　φ500　L＝11.6m		
					(L＝39.6m) 底樋　φ800　L＝27.3m		
				洪水吐工	(流入幅　B＝3.4m) 流入幅　B＝2.5m		
農村地域防災減災事業	ため池整備	戸井ヶ迫	(86,000千円/箇所) 134,000千円/箇所	堤体工	(堤高　H＝7.0m) 堤高　H＝6.7m	(86,000) 134,000	
					(堤長　L＝52.0m) 堤長　L＝55.8m		
				取水工	(斜樋　φ300　L＝12.6m) 斜樋　φ250　L＝10.9m		
					(L＝33.8m) 底樋　φ800　L＝27.7m		
				洪水吐工	流入幅　B＝2.0m		
農村地域防災減災事業	ため池整備	大迫	(110,000千円/箇所) 172,000千円/箇所	堤体工	(堤高　H＝8.0m) 堤高　H＝7.9m	(110,000) 172,000	
					堤長　L＝42.0m		
				取水工	(斜樋　φ300　L＝13.1m) 斜樋　φ200　L＝11.2m		
					(L＝35.3m) 底樋　φ800　L＝36.3m		
				洪水吐工	(流入幅　B＝3.0m) 流入幅　B＝3.8m		
合計						(333,000) 445,000	

第１１章　効　　用

〈ため池整備〉

【全体】

（１）年総効果額及び評価期間内の総便益額　　（単位：千円）　　（第２７表－１）

効果項目　　区　分	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	現況年総農業所得額	評価期間内の便益額	備　考
維持管理費節減効果	(Δ 297) △ 292	(91) 35	－	(Δ 4,840) △ 4,223	
災害防止効果　　（農業関係資産）	(21,356) 35,915	(21,356) 35,915	－	(446,012) 761,224	
（一般資産）	(11,398) 20,321	－	－	(238,045) 430,708	
（公共資産）	(5,146) 14,749	－	－	(107,472) 312,605	
合 計	(37,603) 70,693	(21,447) 35,950	(5,465) 5,255	(786,689) 1,500,314	

（２）評価期間内の総費用　　(330,487)
412,628 千円（＝③）

（３）総費用総便益比及び所得償還率　　（第２７表－２）

区　分	算定式	数　値	備　考
総費用(現在価値化)	③＝①＋②	(330,487) 412,628　千円	
当該事業による費用	①	(286,840) 415,452　千円	
その他費用（関連事業＋資産価額＋再整備費）	②	(43,647) △ 2,824　千円	
年償還額	④	(465) 650　千円／年	
年総効果（便益）額	⑤	(37,603) 70,693　千円	
現況年総農業所得額	⑥	(5,465) 5,255　千円	
年総増加農業所得額	⑦	(21,447) 35,950　千円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		(46) 48　年	(工事期間6年) 工事期間8年
割引率		0.04	
総便益額（現在価値化）	⑧	(786,689) 1,500,314　千円	
総費用総便益比	⑨＝⑧÷③	(2.38) 3.64	≧1.0
総所得償還率	⑩＝④÷⑥	(8.5) 12.4　%	≦20%
増加所得償還率（参考）	⑪＝④÷⑦	(2.2) 1.8　%	≦40%

〈ため池整備〉

【迫浴上】

（１）年総効果額及び評価期間内の総便益額　　（単位：千円）　　（第２７表－３）

効果項目　　区　分	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	現況年総農業所得額	評価期間内の便益額	備　考
維持管理費節減効果	(Δ 51) △ 49	(33) 10	 －	△ 877 △ 706	
災害防止効果　（農業関係資産）	(15, 824) 25, 361	(15, 824) 25, 361	 －	(330, 476) 537, 528	
（一般資産）	(8, 229) 13, 853		 －	(171, 862) 293, 615	
（公共資産）	(4, 363) 11, 917		 －	(91, 120) 252, 582	
合 計	(28, 365) 51, 082	(15, 857) 25, 371	(1, 454) 1, 408	(592, 581) 1, 083, 019	

（２）評価期間内の総費用　　(169, 344)
145, 621 千円（＝③）

（３）総費用総便益比及び所得償還率　　（第２７表－４）

区　分	算定式	数　値	備　考
総費用(現在価値化)	③＝①＋②	(169, 344) 145, 621　千円	
当該事業による費用	①	(122, 217) 146, 210　千円	
その他費用（関連事業＋資産価額＋再整備費）	②	(47, 127) △ 589　千円	
年償還額	④	(191) 203　千円／年	
年総効果（便益）額	⑤	(28, 365) 51, 082　千円	
現況年総農業所得額	⑥	(1, 454) 1, 408　千円	
年総増加農業所得額	⑦	(15, 857) 25, 371　千円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		(46) 48　年	(工事期間6年) 工事期間8年
割引率	⑧	0. 04	
総便益額（現在価値化）	⑨＝⑧÷③	(592, 581) 1, 083, 019　千円	
総費用総便益比	⑩＝④÷⑥	(3. 49) 7. 43	≧1. 0
総所得償還率	⑪＝④÷⑦	(13. 1) 14. 4　％	≦20％
増加所得償還率（参考）		(1. 2) 0. 8　％	≦40％

〈ため池整備〉

【戸井ヶ迫】

（１）年総効果額及び評価期間内の総便益額　　（単位：千円）　　（第２７表－５）

効果項目　　区　分	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	現況年総農業所得額	評価期間内の便益額	備　考
維持管理費節減効果	△ 150	35	－	△ 2,465 △ 2,169	
災害防止効果　（農業関係資産）	(2,647) 5,694	(2,647) 5,694	－	(55,284) 120,688	
（一般資産）	(1,605) 2,720		－	(33,521) 57,653	
（公共資産）			－		
合 計	(4,102) 8,264	(2,682) 5,729	(2,206) 2,111	(86,340) 176,172	

（２）評価期間内の総費用　　(72,537)
107,882 千円（＝③）

（３）総費用総便益比及び所得償還率　　（第２７表－６）

区　分	算定式	数　値	備　考
総費用(現在価値化)	③＝①＋②	(72,537) 107,882　千円	
当該事業による費用	①	(73,968) 109,628　千円	
その他費用（関連事業＋資産価額＋再整備費）	②	(Δ 1,431) △ 1,746　千円	
年償還額	④	(120) 196　千円／年	
年総効果（便益）額	⑤	(4,102) 8,264　千円	
現況年総農業所得額	⑥	(2,206) 2,111　千円	
年総増加農業所得額	⑦	(2,682) 5,729　千円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		(46) 48　年	(工事期間6年) 工事期間8年
割引率		0.04	
総便益額（現在価値化）	⑧	(86,340) 176,172　千円	
総費用総便益比	⑨＝⑧÷③	(1.19) 1.63	≧1.0
総所得償還率	⑩＝④÷⑥	(5.4) 9.3　%	≦20%
増加所得償還率（参考）	⑪＝④÷⑦	(4.5) 3.4　%	≦40%

〈ため池整備〉

【大迫】

（１）年総効果額及び評価期間内の総便益額　　（単位：千円）　　（第２７表－７）

区　分 効果項目	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	現況年総農業所得額	評価期間内の便益額	備　考
維持管理費節減効果	(Δ 96) △ 93	(23) △ 10	－	(Δ 1,498) △ 1,348	
災害防止効果　（農業関係資産）	(2,885) 4,860	(2,885) 4,860	－	(60,252) 103,008	
（一般資産）	(1,564) 3,748		－	(32,662) 79,440	
（公共資産）	(783) 2,832		－	(16,352) 60,023	
合 計	(5,136) 11,347	(2,908) 4,850	(1,805) 1,736	(107,768) 241,123	

（２）評価期間内の総費用　　(88,606)
159,125 千円（＝③）

（３）総費用総便益比及び所得償還率　　（第２７表－８）

区　分		算定式	数　値	備　考
総費用(現在価値化)		③＝①＋②	(88,606) 159,125　千円	
	当該事業による費用	①	(90,655) 159,614　千円	
	その他費用（関連事業＋資産価額＋再整備費）	②	(Δ 2,049) △ 489　千円	
年償還額		④	(154) 251　千円／年	
年総効果（便益）額		⑤	(5,136) 11,347　千円	
現況年総農業所得額		⑥	(1,805) 1,736　千円	
年総増加農業所得額		⑦	(2,908) 4,850　千円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）			(46) 48　年	(工事期間6年) 工事期間8年
割引率			0.04	
総便益額（現在価値化）		⑧	(107,768) 241,123　千円	
総費用総便益比		⑨＝⑧÷③	(1.21) 1.51	≧1.0
総所得償還率		⑩＝④÷⑥	(8.5) 14.5　%	≦20%
増加所得償還率（参考）		⑪＝④÷⑦	(5.3) 5.2　%	≦40%

第１２章　関連する事業

（第２８表）

区分	事　業　名	事　業　主　体	受　益　面　積 (ha)	事　　業　　内　　容

第１３章　現況・計画図面

１　現況平面図

別図のとおり

２　計画平面図

別図のとおり

３　主要構造図

別図のとおり

農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）菊川中地区　位置図

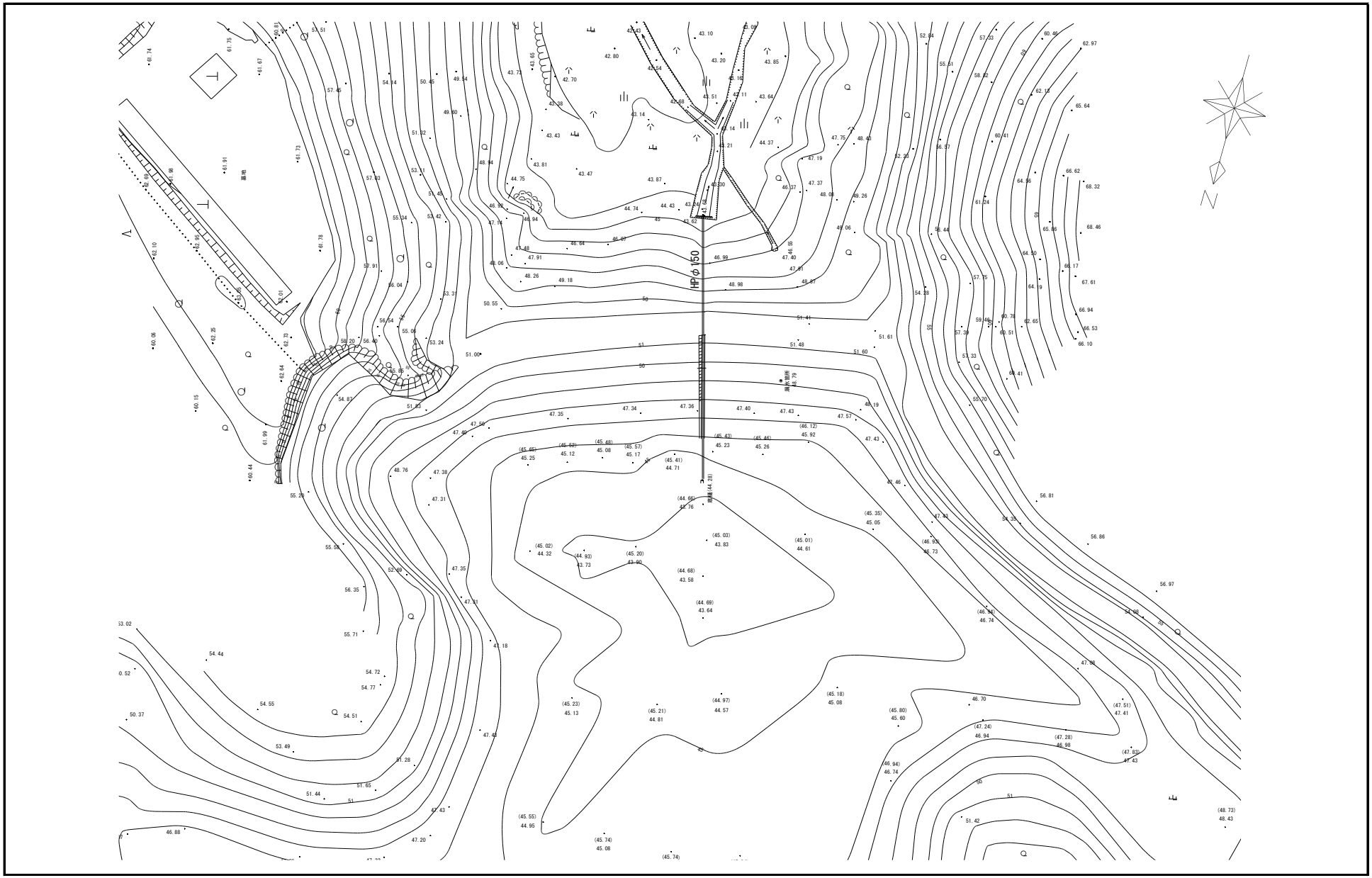
所在地：下関市菊川町大字吉賀、七見、下保木　地内

「この地図は国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。」

現 況 平 面 図

菊川中地区（追浴上）

現 況 平 面 図



変更後

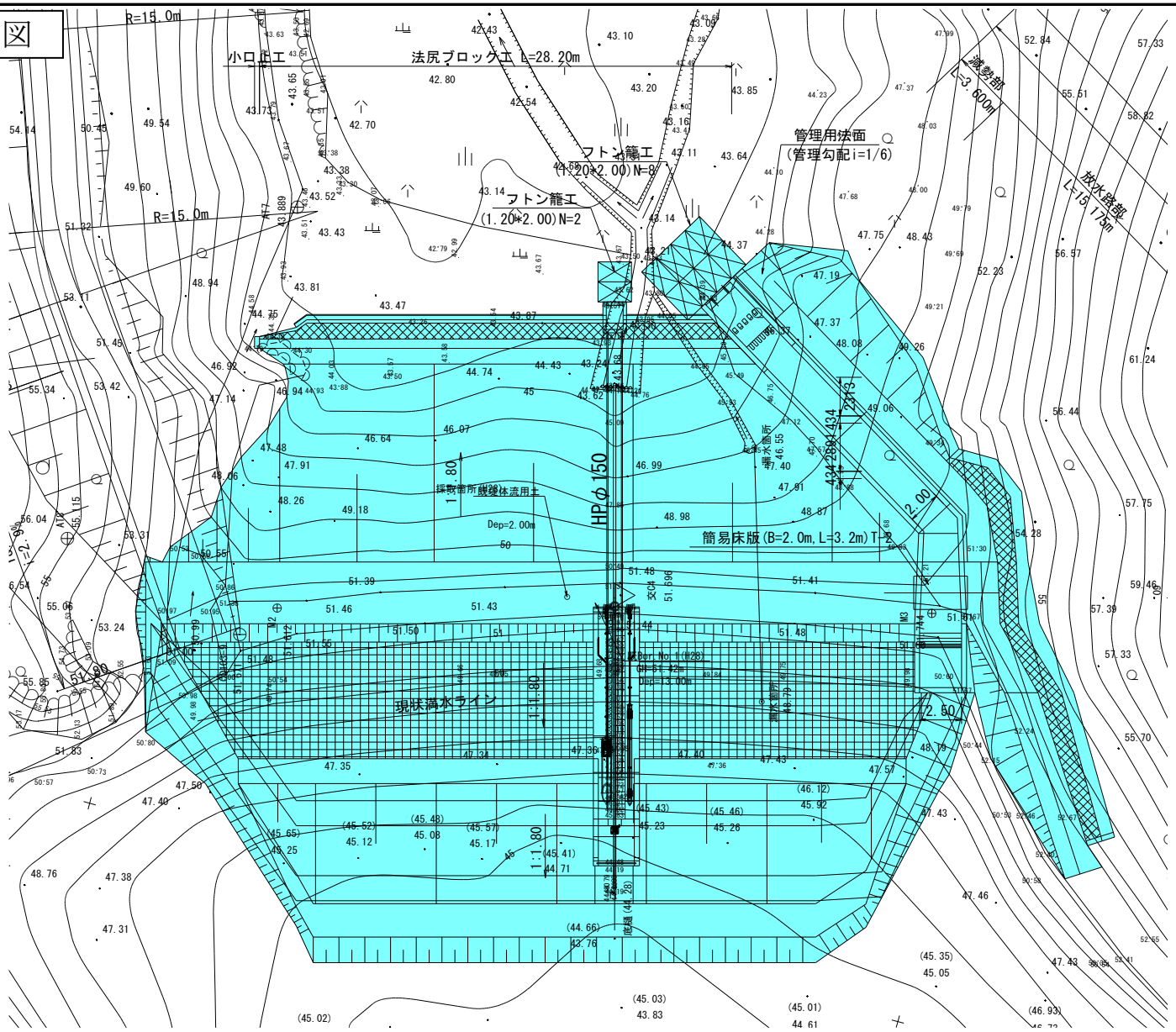
計 画 平 面 図 及 び主 要 構 造 図

菊川中地区（迫浴上）

主 要 構 造 図 等

変更後

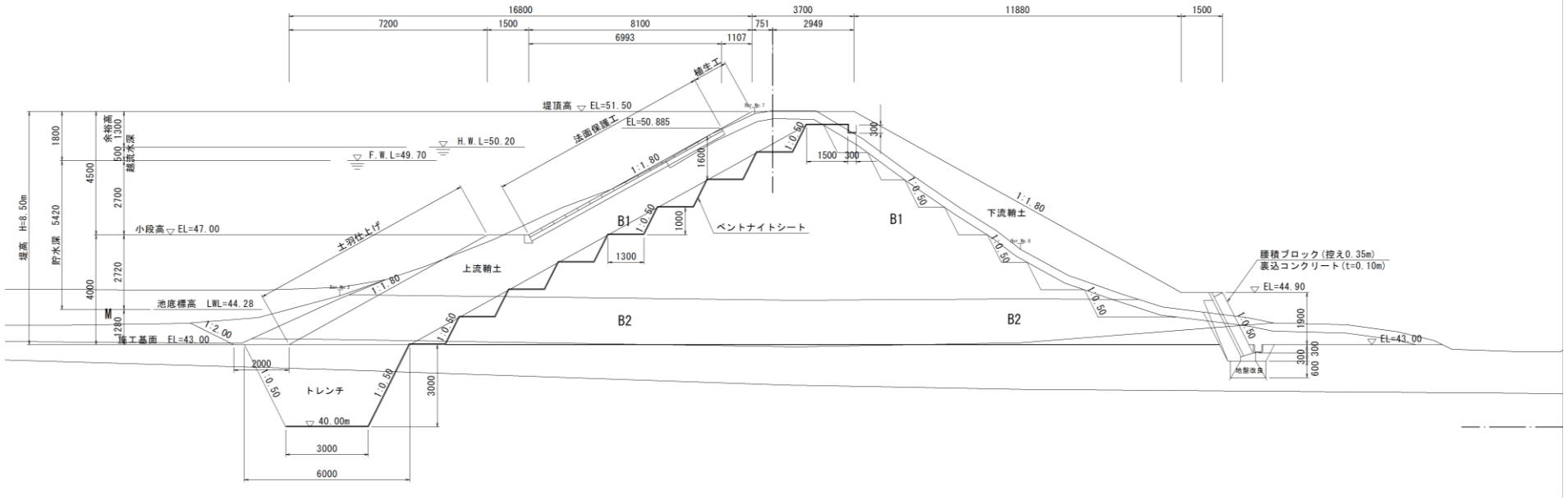
計画平面図



主 要 構 造 図 等

変更後

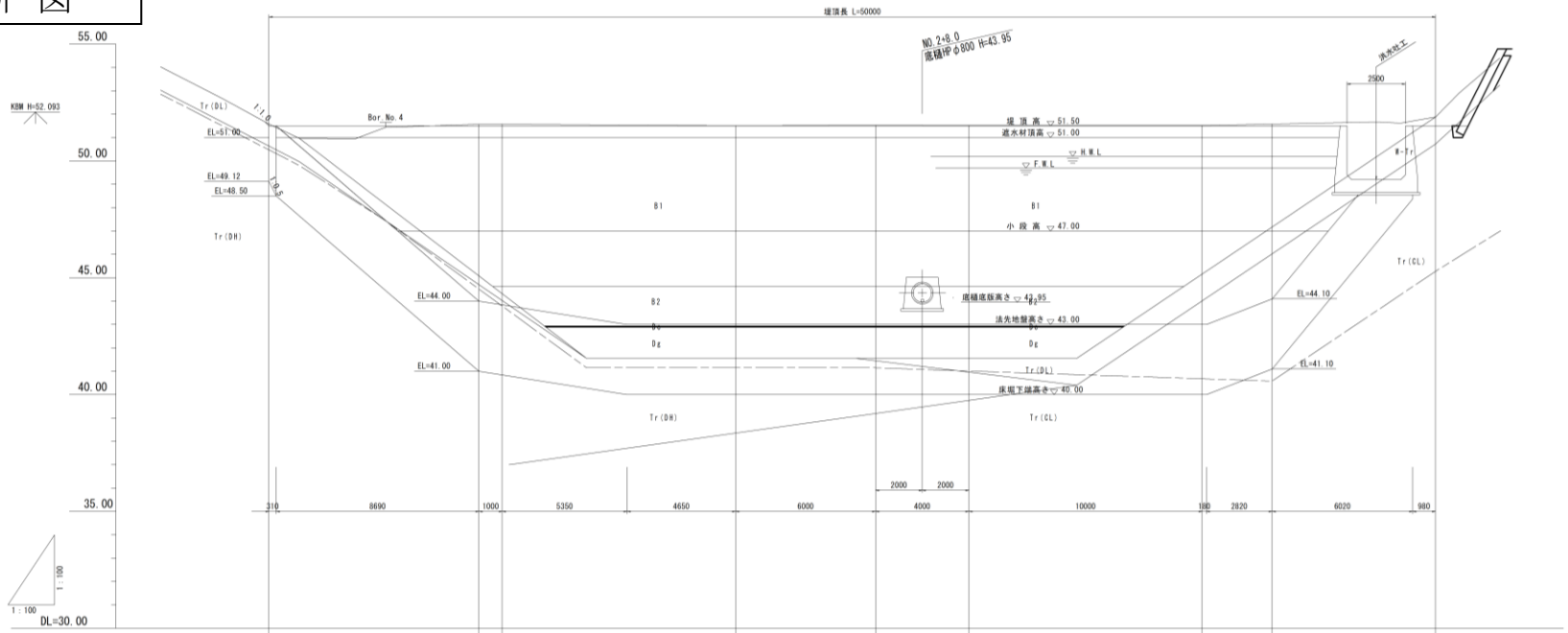
堤 体 工



主 要 構 造 図 等

変更後

縦 断 図



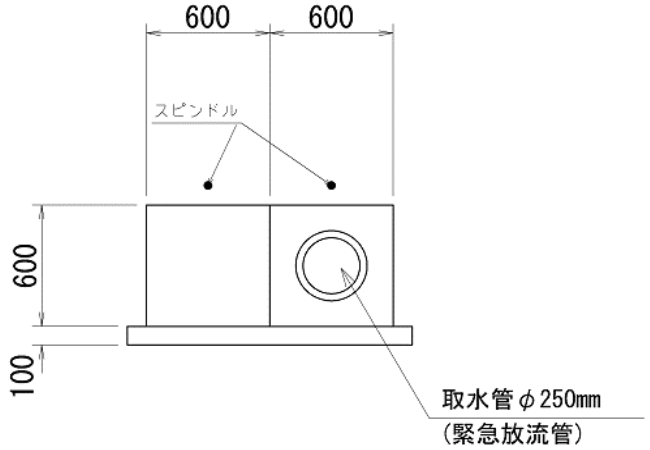
勾 配	51.50	LEVEL L=50.000								51.50
盛 土	-	-	-	-	0.03	0.02	0.02	0.08	0.38	
切 土	0.08	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	
計 画 高	51.50	51.50	51.50	51.50	51.50	51.50	51.50	51.50	51.50	
地 盤 高	51.58	51.57	51.57	51.51	51.53	51.52	51.52	51.58	51.88	
追加距離	0.000	9.000	10.000	20.000	26.000	30.000	40.000	43.000	50.000	
単 距 離	0.000	9.000	1.000	10.000	6.000	4.000	10.000	3.000	7.000	
測 点	NO.0	NO.0+8.0	NO.1	NO.2	NO.2+6.0	NO.3	NO.4	NO.4+3.0	NO.5	

主 要 構 造 図 等

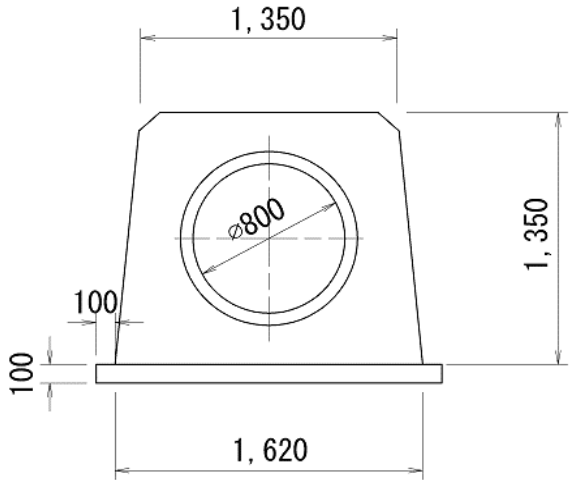
変更後

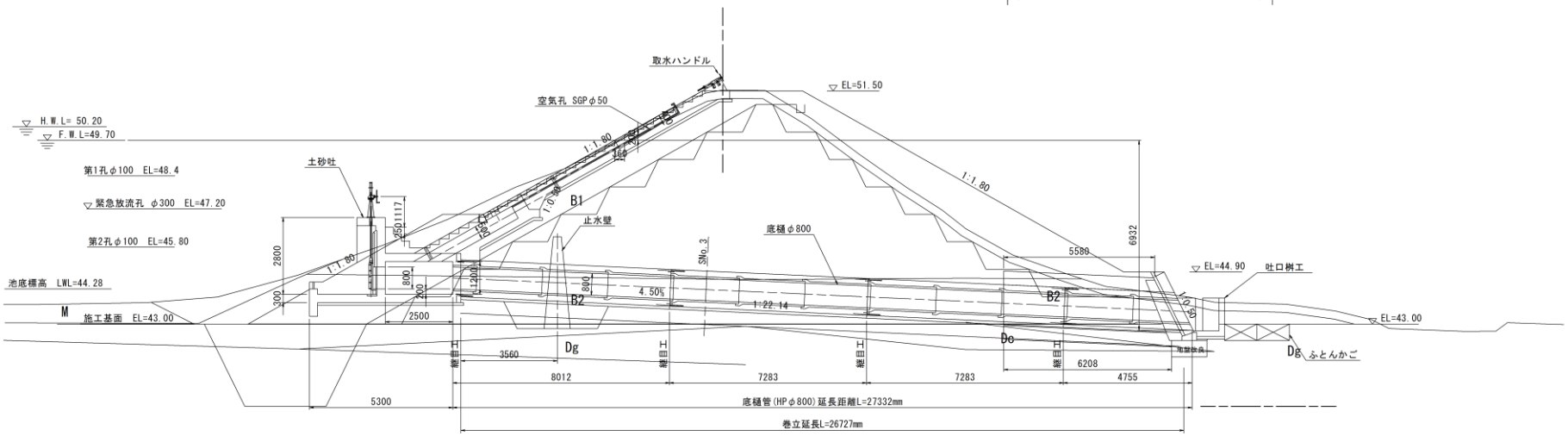
取 水 工

斜 樋 工



底 樋 工

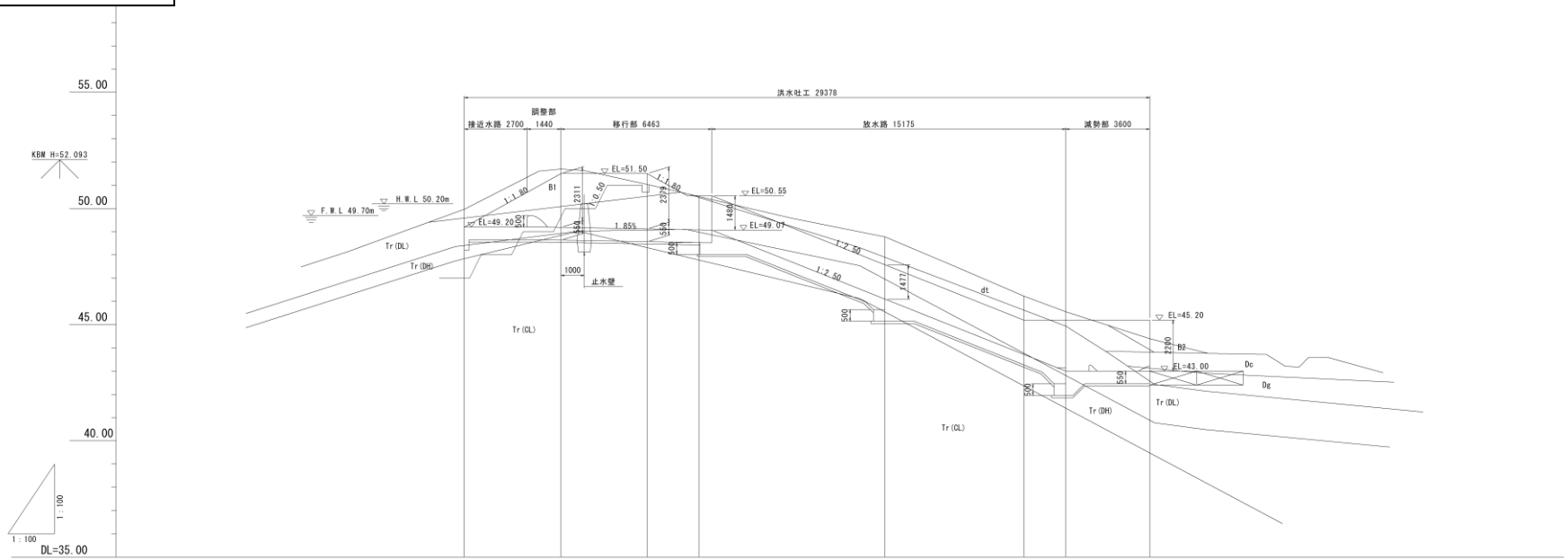




主 要 構 造 図 等

変更後

洪 水 吐 工



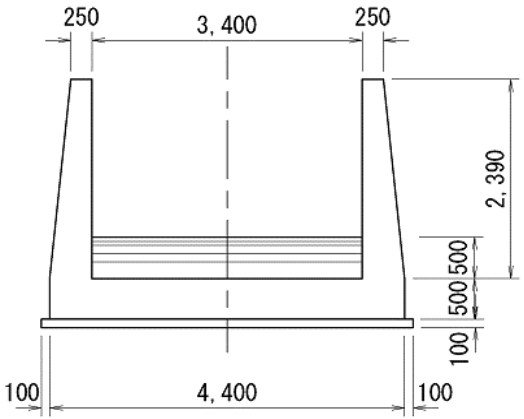
勾 配	49.20	LEVEL L=3.570m	49.20	i=1/54.1 L=7.030m	49.07	i=1/2.5 L=15.180m		43.00	LEVEL L=3.600m	43.00
盛 土	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
切 土	0.77	-	2.51	1.92	1.43	-	2.68	2.52	2.56	1.40
計 画 高	49.20	49.20	49.19	49.12	49.08	49.07	46.10	43.72	43.00	43.00
地 盤 高	49.97	51.70		51.04	50.51		48.78	46.24	45.56	44.40
追加距離	0.000	3.570	4.140	7.840	10.072	10.600	18.031	23.970	25.778	29.378
単 距 離	0.000	3.570	0.570	3.700	2.232	0.528	7.431	5.939	1.808	3.600
測 点	ABP	-3.57	ANO.1	ANO.2	ANO.3	+0.528	ANO.4	ANO.5	ANO.6	AEP

主 要 構 造 図 等

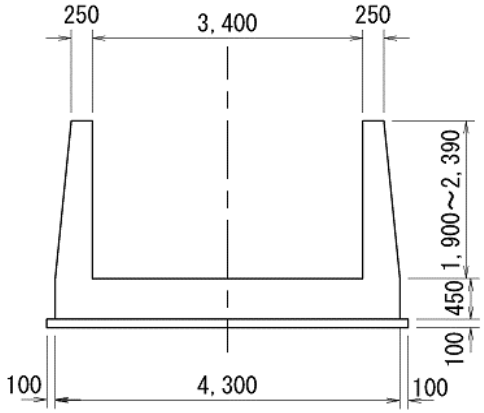
変更後

洪 水 吐 工

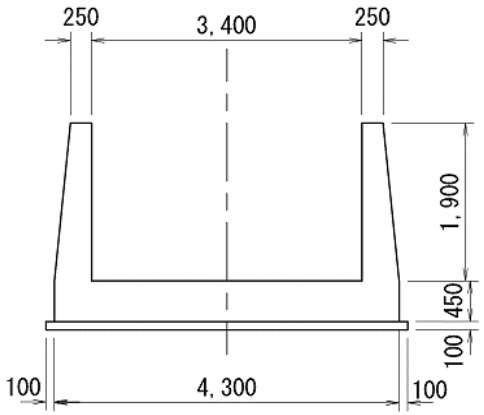
流 入 部



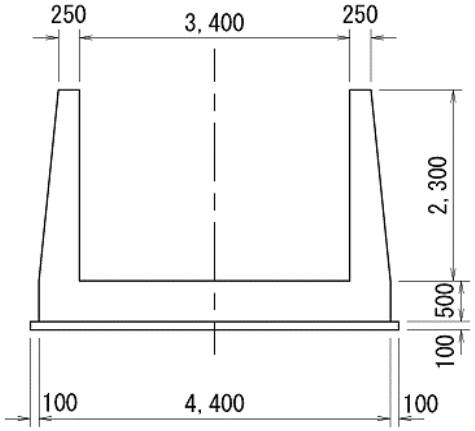
放 流 部



放 流 部



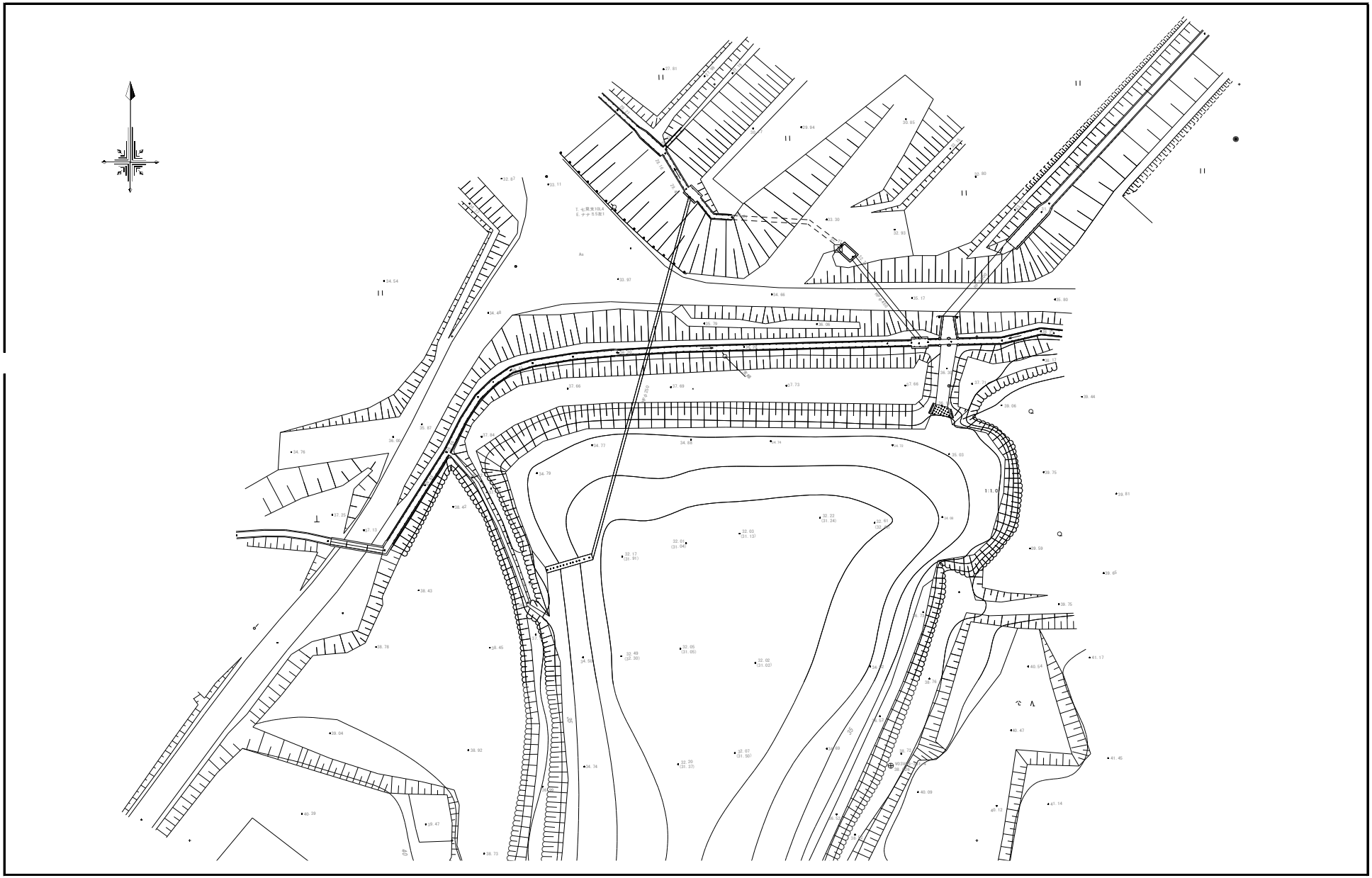
減 勢 部



現 況 平 面 図

菊川中地区（戸井ヶ迫）

現 況 平 面 図



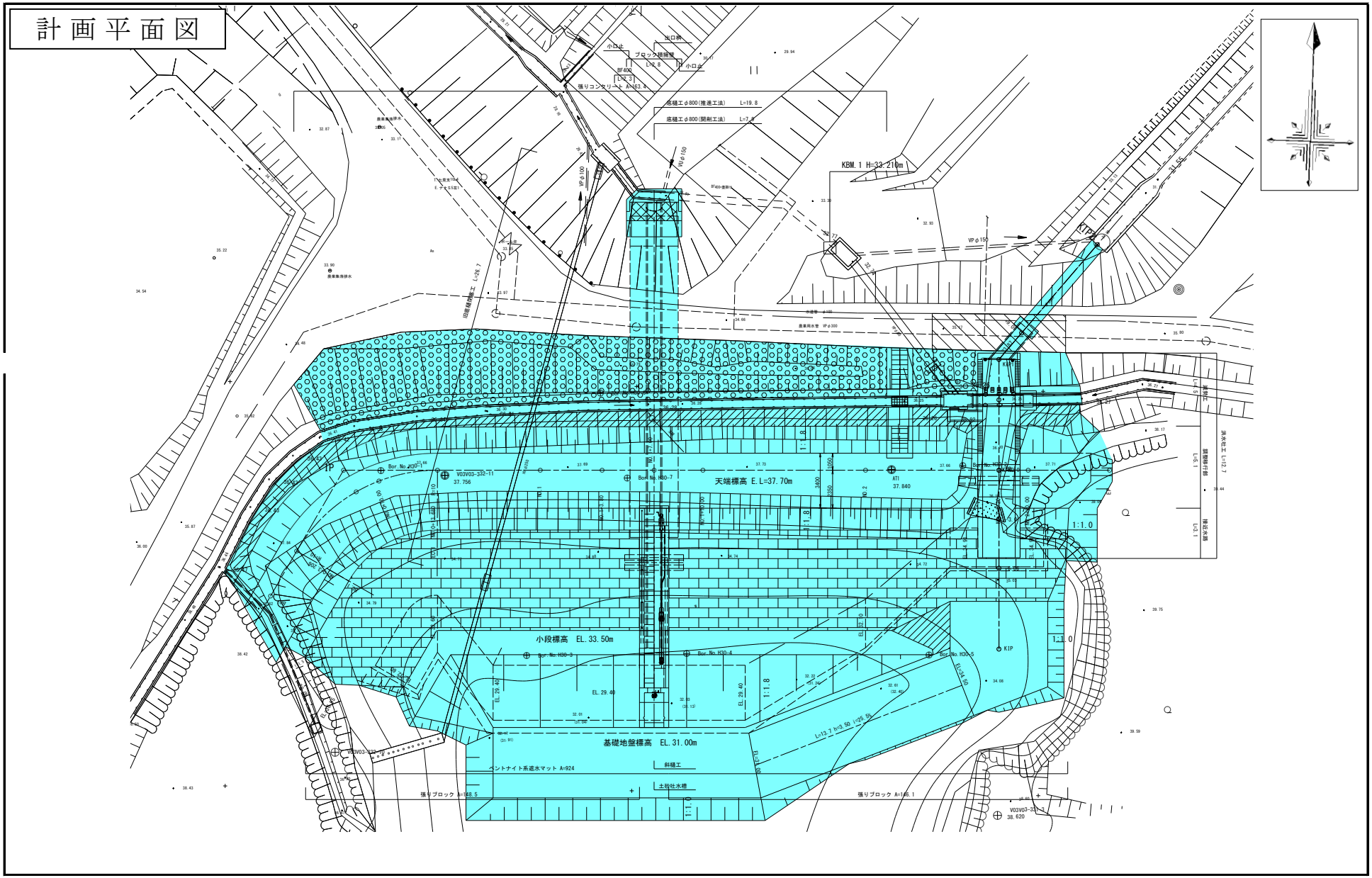
変更後

計 画 平 面 図 及 び主 要 構 造 図

菊川中地区（戸井ヶ迫）

主 要 構 造 図 等

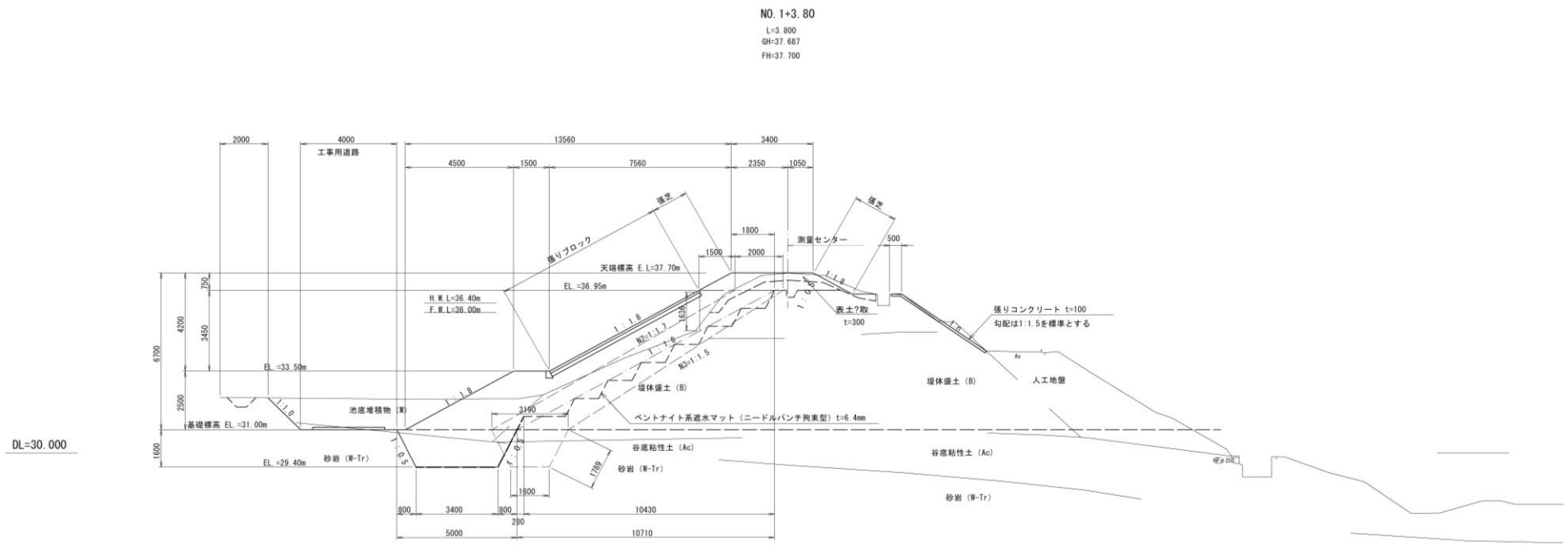
変更後


計画平面図
天端標高 E.L=37.70m
小段標高 EL. 33.50m
基礎地盤標高 EL. 31.00m
KBM. 1 H=33.210m
張りコンクリート A=83.8
底樋工φ800(推進工法) L=19.8
底樋工φ800(開削工法) L=7.8
ブロック積擁壁
出口枠
小口止
BF400
L=2.3
L=2.8
VP φ100
VP φ150
VP φ150
農業用水管 VP φ300
農業集落排水
切廻道路工 L=26.7
道路工 L=12.7
排水路工 L=12.7
舗装工
舗装路肩 L=5.1
排水路 L=3.1
1:1.0
1:1.8
EL. 29.40
EL. 32.0
EL. 34.50
L=13.7 h=3.50 i=25.5%
ベントナイト系遮水マット A=924
斜樋工
土砂吐水槽
張りブロック A=148.5
張りブロック A=146.1
Bor. No. H30-3
Bor. No. H30-4
Bor. No. H30-5
Bor. No. H30-7
V03V03-332-11
37.756
ATI
37.840
KIP
38.620

主 要 構 造 図 等

変更後

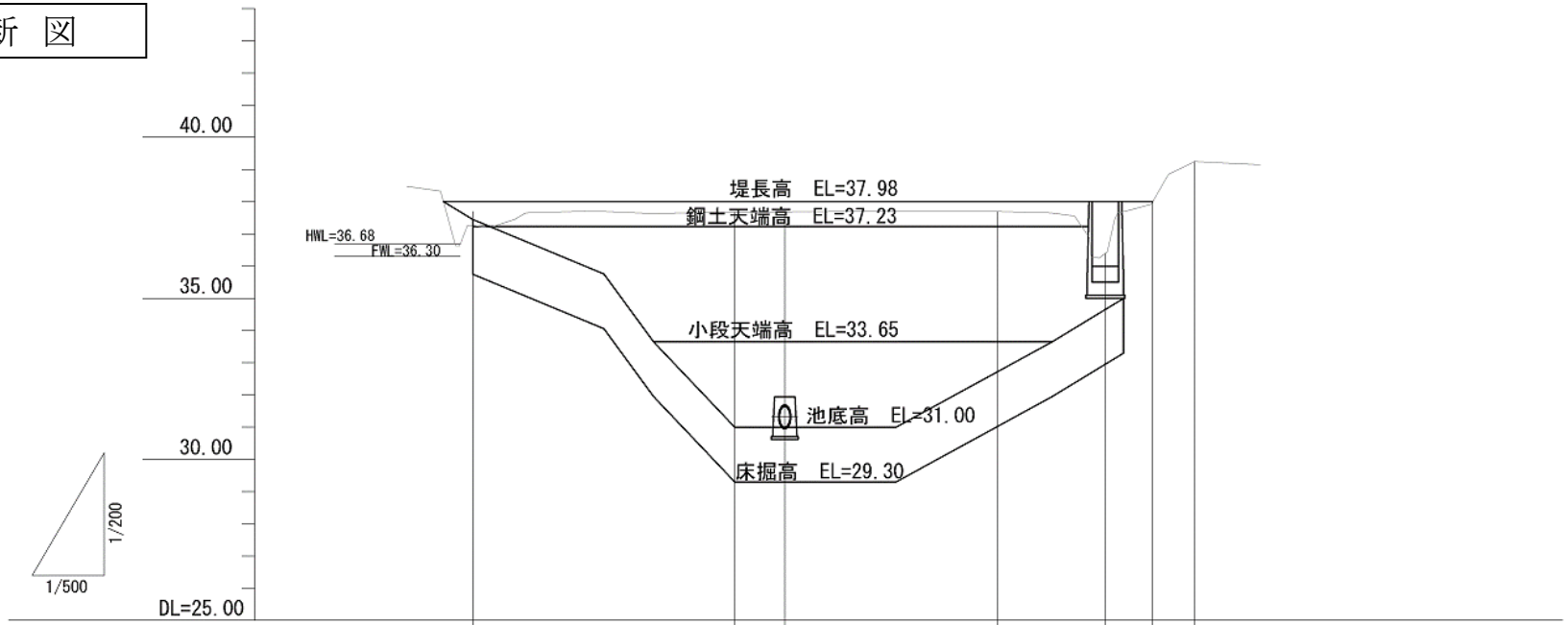
堤 体 工



主 要 構 造 図 等

変更後

縦 断 図



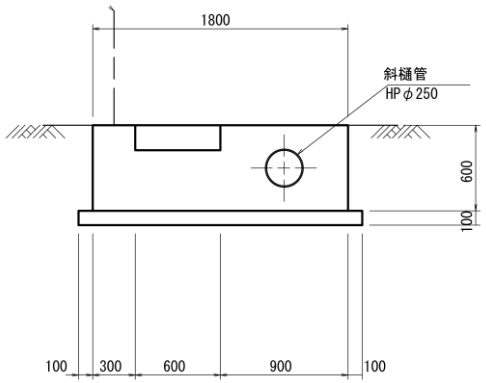
計画	計画高	38.00	LEVEL 計画堤長 L=52.0m								38.00
	基盤高			30.50	30.50		32.10	34.83	38.00		
	床掘高			28.70	28.70		30.30	33.03			
現況	地盤高	37.27		37.69	37.69		37.70	37.74	38.00	39.25	
	追加距離	0.00		20.00	23.80		40.00	48.20	52.00	55.00	
	測 点	NO.0		NO.1	+3.80		NO.2	+8.20	+12.00	+15.00	

主 要 構 造 図 等

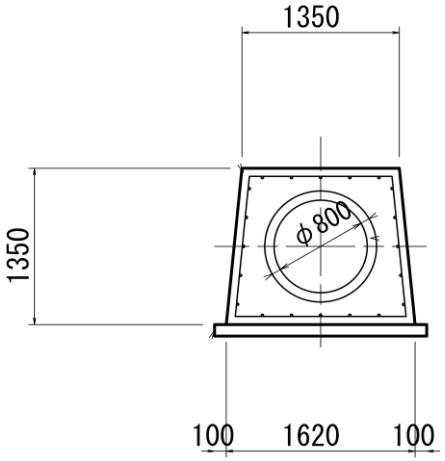
変更後

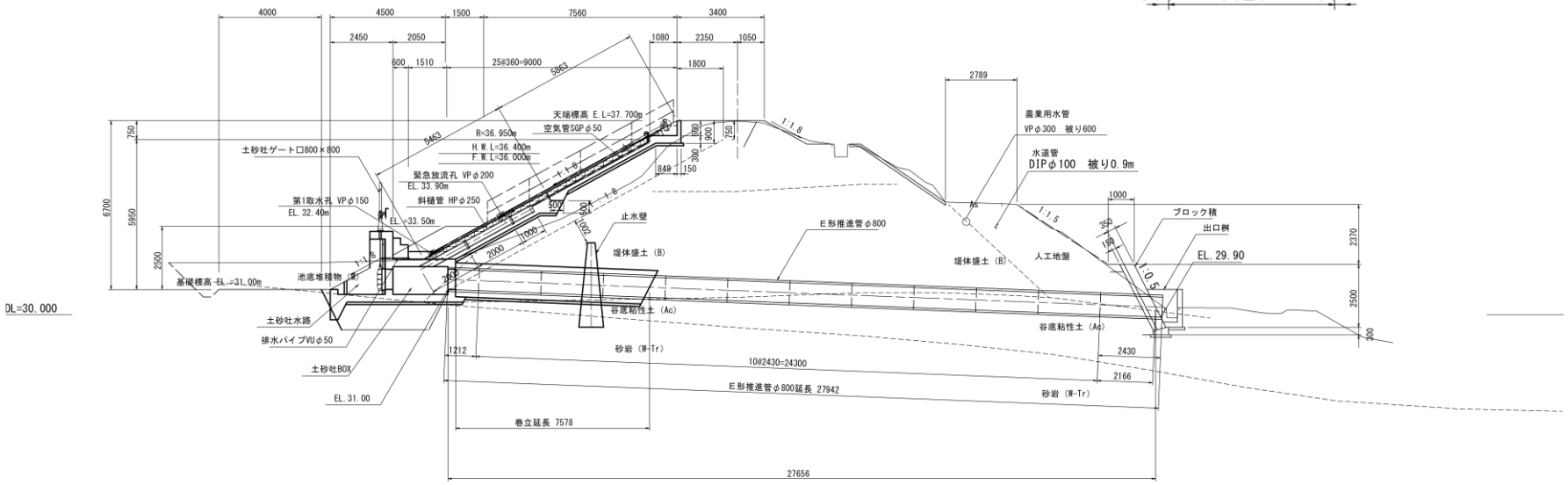
取 水 工

斜 樋 工



底 樋 工

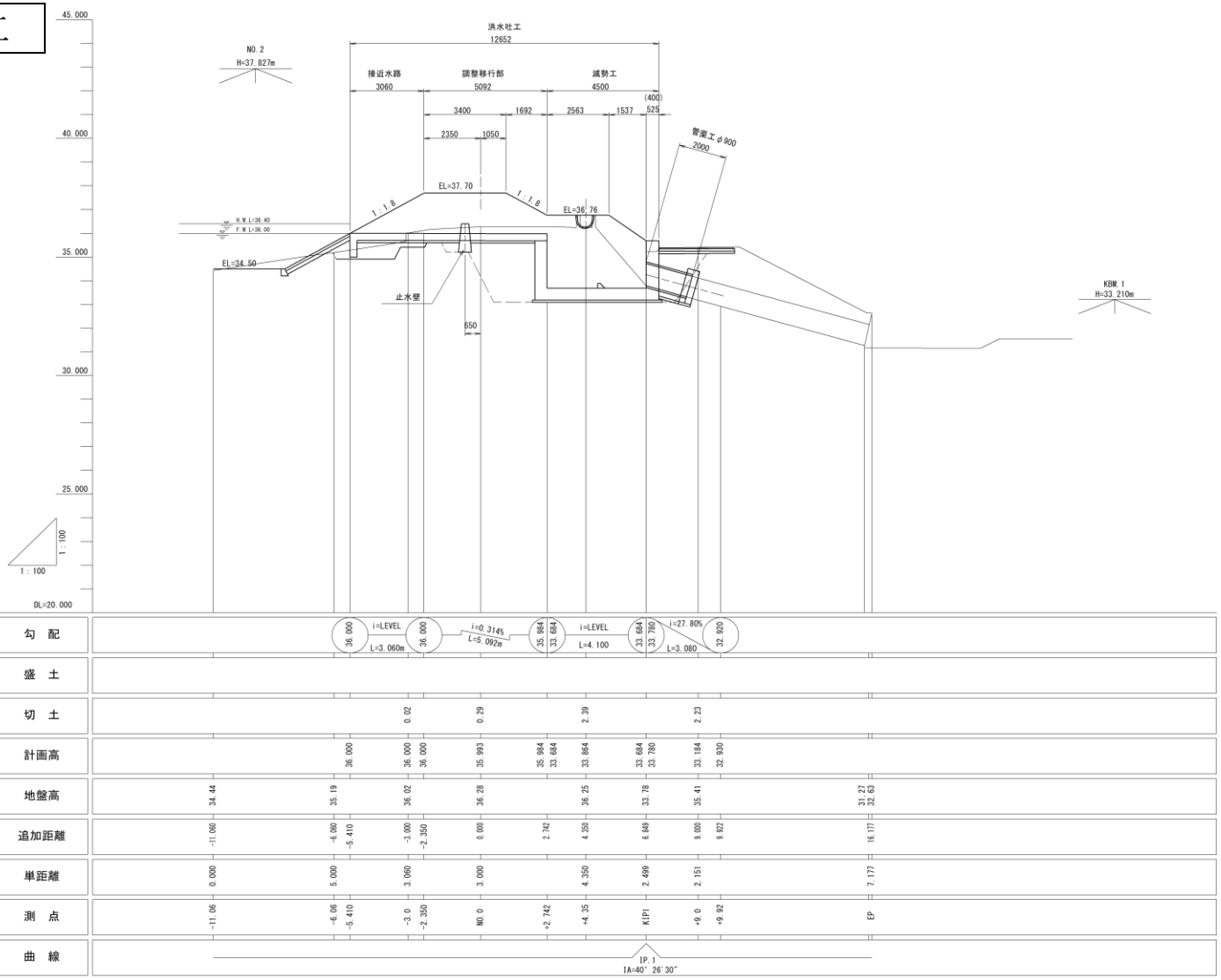




主 要 構 造 図 等

変更後

洪 水 吐 工

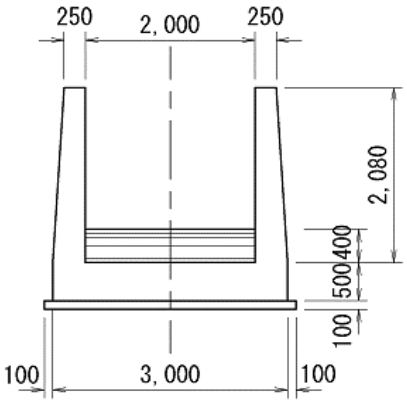


主 要 構 造 図 等

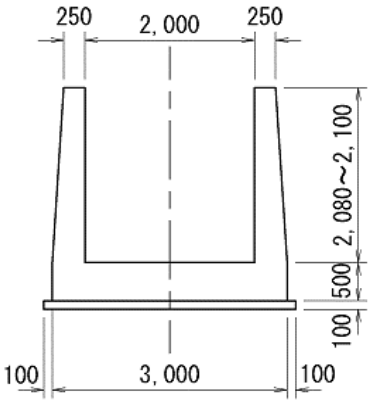
変更後

洪 水 吐 工

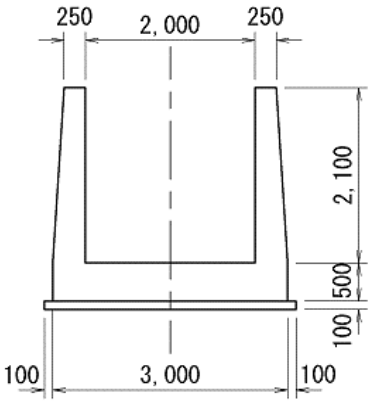
流 入 部



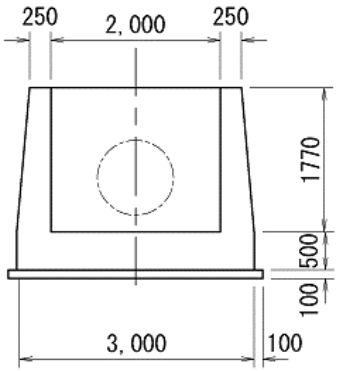
移 行 部



放 流 部



減 勢 部



現 況 平 面 図

菊川中地区（大迫）

現 況 平 面 図

変更後

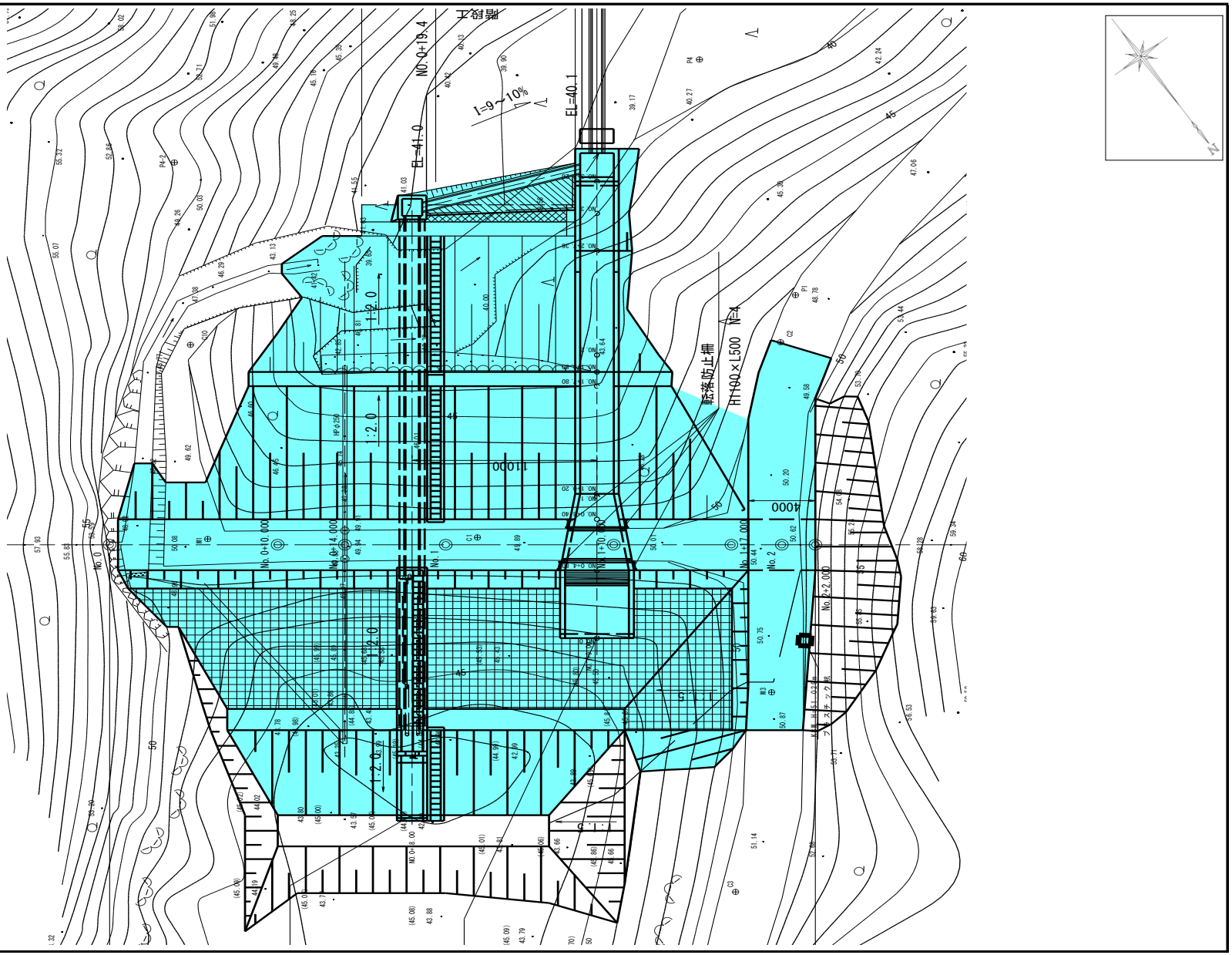
計 画 平 面 図 及 び主 要 構 造 図

菊川中地区（大迫）

主 要 構 造 図 等

変更後

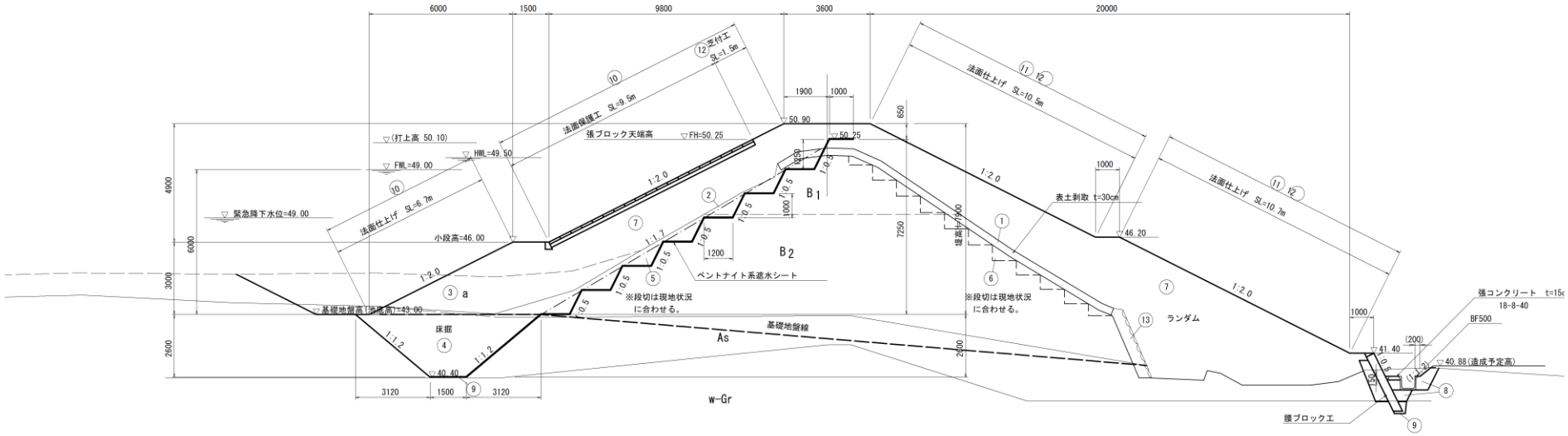
計画平面図



主 要 構 造 図 等

変更後

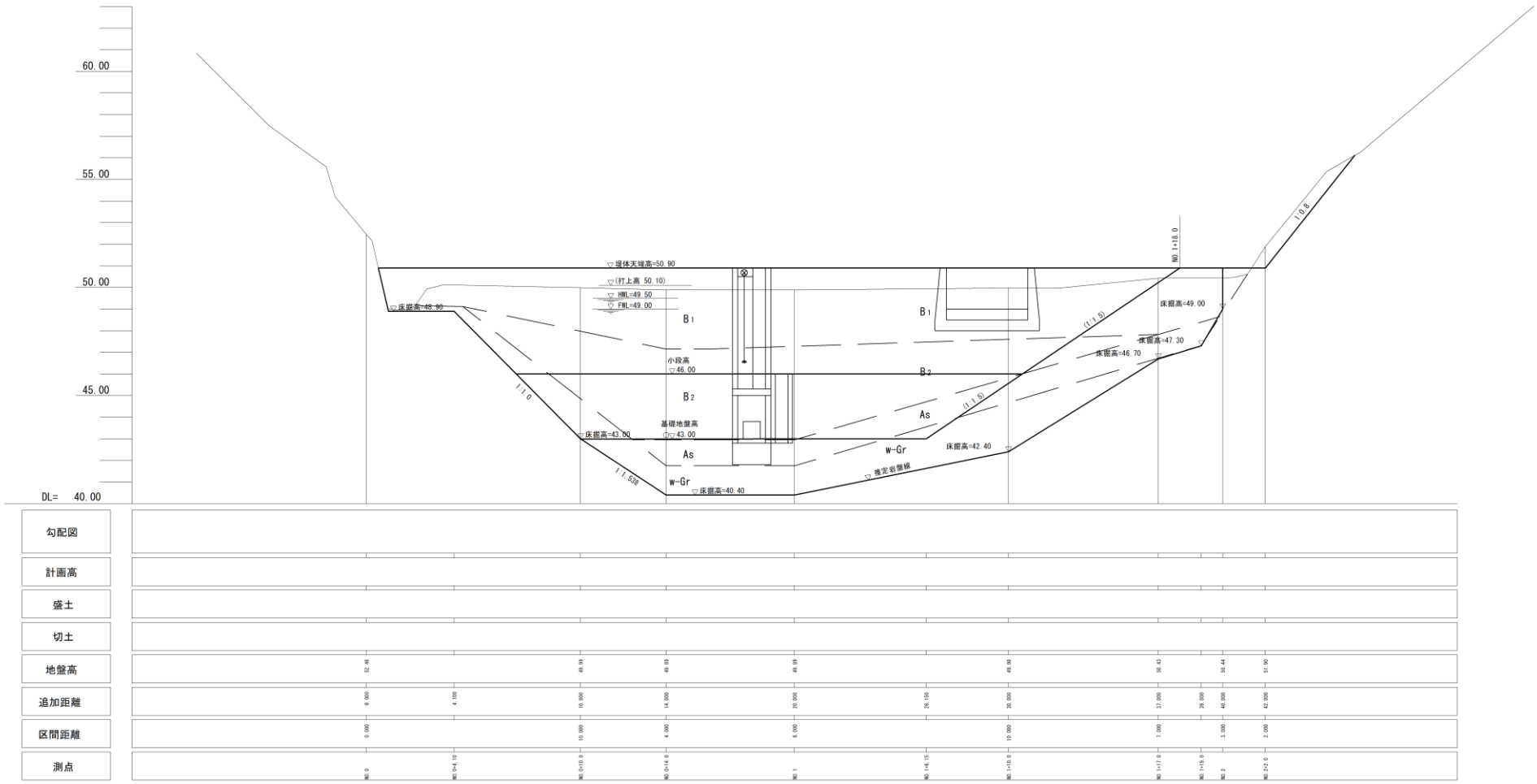
堤 体 工



主 要 構 造 図 等

変更後

縦 断 図

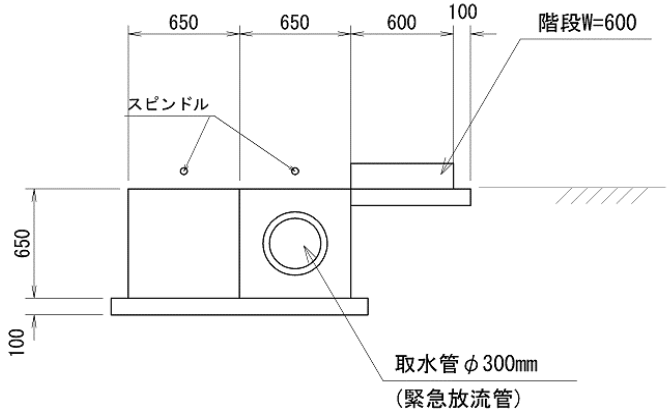


主 要 構 造 図 等

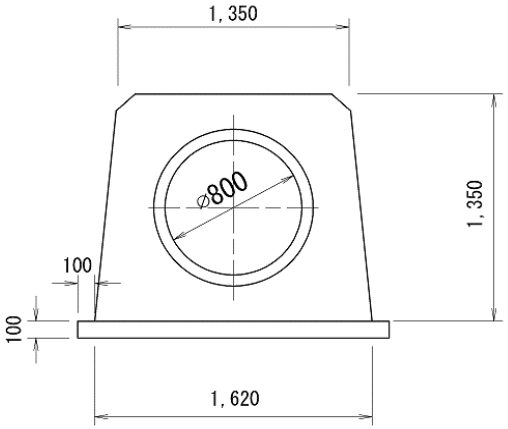
変更後

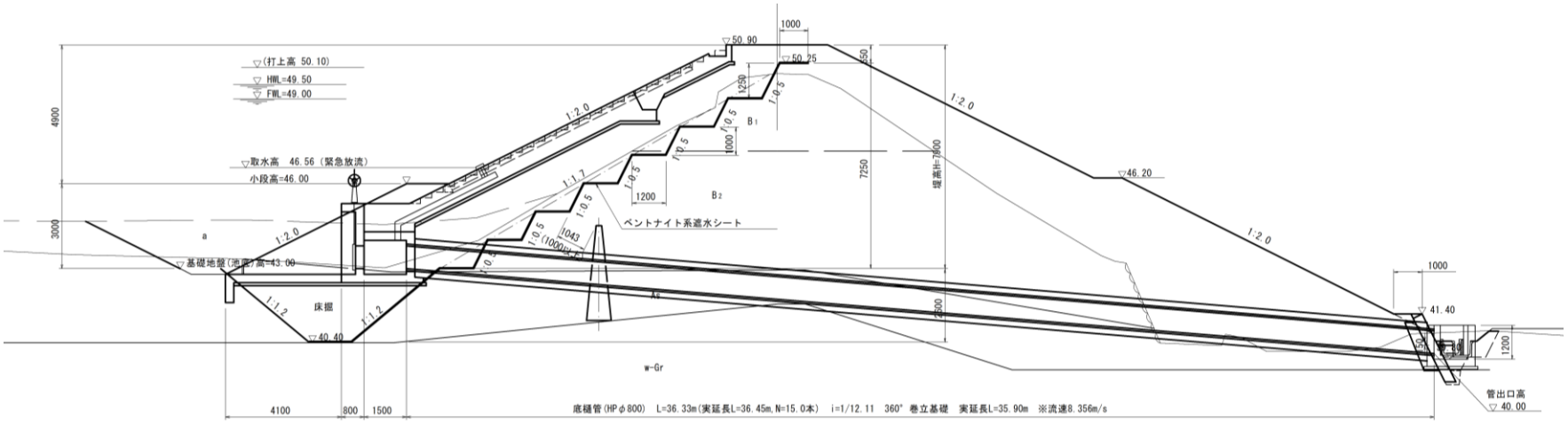
取 水 工

斜 樋 工



底 樋 工

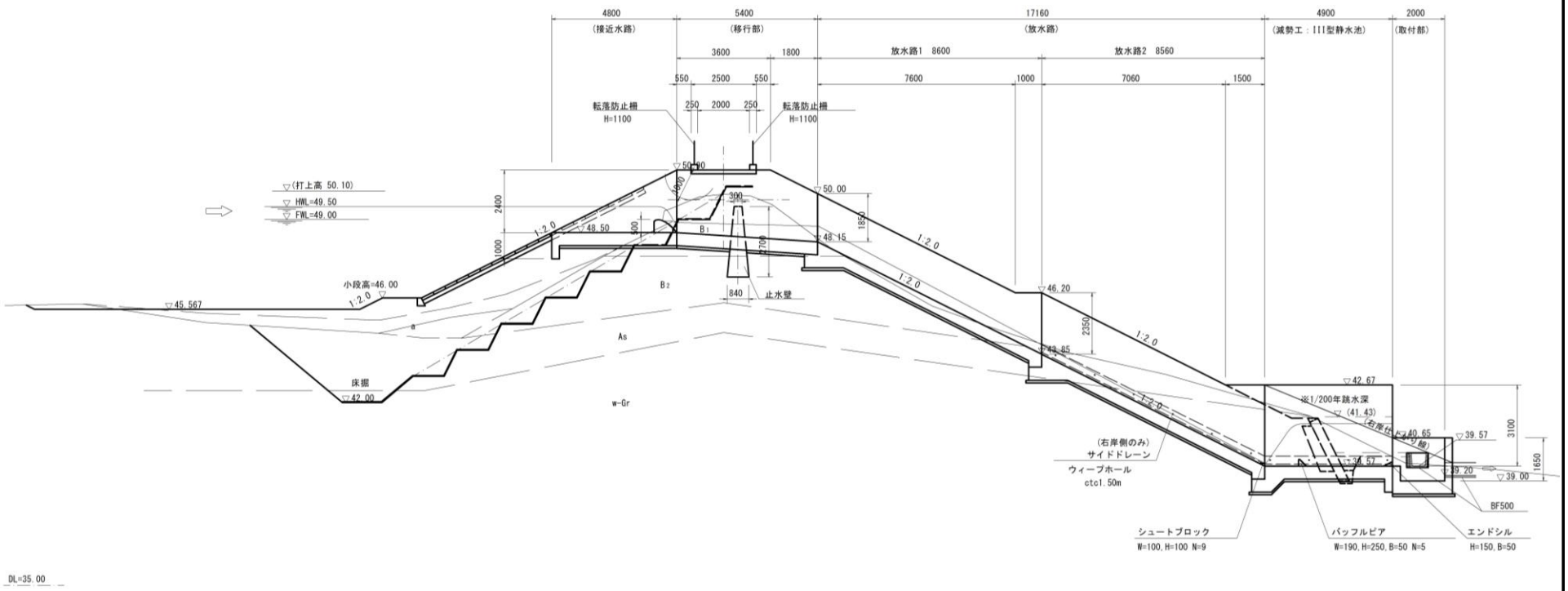




主 要 構 造 図 等

変更後

洪 水 吐 工

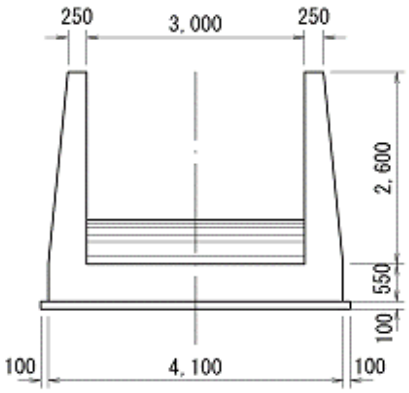


主 要 構 造 図 等

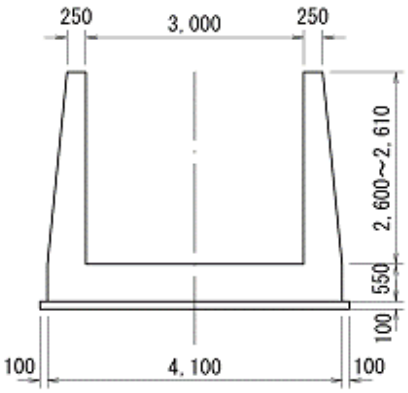
変更後

洪 水 吐 工

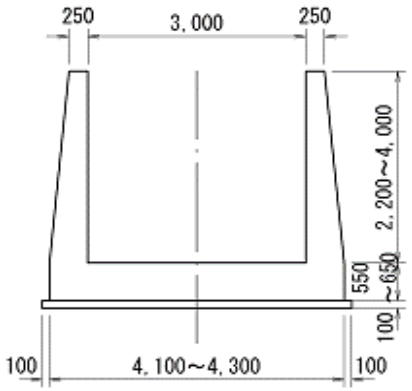
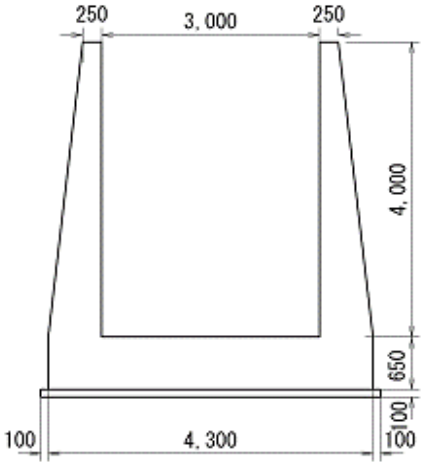
流 入 部



流 入 部



放 流 部



減 勢 部